



ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
キャビネット構成員・クラブ 3 役

研修会資料

2025-2026
Mito Aoi

MISSION 1.5 IMPACT!



ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
2025-2026 年度
地区ガバナー 若林 純也

地区ガバナー スローガン

MISSION1.5
IMPACT!

地区ガバナー方針

- 1 Mission1.5 < 会員強化・組織強化 >
- 2 LCI・LCIF < 地域と国際 >
- 3 Impact < 影響・効果・衝撃 >
- 4 Action < 行動・改革・チャレンジ >
- 5 Enjoy < 集まる・楽しむ・奉仕する >
- 6 Diversity < 多様性・新時代ライオンズの創造 >
- 7 We Serve < 8つのグローバル重点分野とSDGs >

目 次

研修会プログラム	1
次期キャビネット組織図(案)	3
地区ガバナー 椎名 健二	4
元国際理事 川島 正行	5
地区ガバナーエレクト 若林 純也	6
次期第1副地区ガバナー 鈴木 光成	7
次期第2副地区ガバナー 鈴木 孝昌	8
次期キャビネット幹事 関川 恵一	9
次期キャビネット会計 大窪 聡史	10
次期 GLT コーディネーター 結城 健一	11
次期 GMT コーディネーター 太田 敬	12
次期 GET コーディネーター 藤田 匡史	13
次期 WYPT コーディネーター 中山 景子	14
次期 GST コーディネーター 渡辺 まり恵	15
次期 LCIF コーディネーター 倉留 ラジエシュ	16
次期 GLT リーダーシップ委員長 大高 勝利	17
次期 GMT・GET 委員長 (会員増強・リテンション・EXT) 富島 純一	18
次期 WYPT 委員長 (献血・視力・糖尿病予防・小児がん) 刑部 ともこ	19
次期 LCIF・国際大会委員長 植田 佳男	20
次期 PR・IT・マーケティング委員長 坂入 武史	21
次期日本ライオンズ・アラート・環境保全委員長 関 義則	22
次期ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 黒沢 清訓	23
次期 YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員長 今井 章人	24
333-E 地区プロトコール (案)	25
2025-2026 年度 3 役研修会分科会担当者・会場	26
分科会会場案内図	27
第1分科会 ゾーン・チェアパーソン	28
第2分科会 クラブ会長	29
第3分科会 クラブ幹事・会計	30
第4分科会 GLT リーダーシップ育成委員会	31
第5分科会 GMT・GET 委員会 (会員増強・リテンション・EXT)	32
第6分科会 WYPT 委員会 (献血・視力・糖尿病予防・小児がん)	33
第7分科会 LCIF・国際大会委員会	34
第8分科会 PR・IT・マーケティング委員会	35

第9分科会 日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会	36
第10分科会 ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	37
第11分科会 YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	38
ゾーン・チェアパーソンの役割	39
地区委員長・地区委員の役職について	47
地区委員会、事務手続き等の確認	47
クラブ3役の職務	48
会長の職務	48
幹事の職務【新入会員入会式要領・インターネット報告システム】	52
会計の職務【国際協会会計報告書・複合地区・地区費請求書(参考資料)】	62
地区費・その他納入先一覧	68
333-E 地区「統一見解」	69
記念式典・エクステンションについて	71
2025-2026年度 ガバナー公式訪問スケジュール(案)	76
2025-2026年度 クラブ周年行事予定表(案)	77
2025-2026年度 333-E 地区年間行事予定(案)	78
333-E 地区事業支援基金運用規則	79
333-E 地区内規慶弔見舞規定	80
333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則	81
333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則 運用マニュアル	85
333-E 地区内規緊急援助資金規定	90
333-E 地区災害対応マニュアル	91
地区ガバナーエレクト紹介	99
2025-2026年度 キャビネット幹事・会計予定者経歴書	100
ライオンズクラブ分布図	101
333-E 地区 ライオンズクラブの現況	102
ライオンズクラブ使用略語	103
ローマ字/カナ対応表	104
キャビネット事務局の運営	106

研修会プログラム

場所：ザ・ヒロサワ・シティ

● 受付 12:00～13:00

● 全体会議[A] 13:00～14:00

会場：大ホール

	総合司会	次期キャビネット事務局長	石井慎太郎
1. 開会宣言・開会ゴング	地区ガバナー		椎名 健二
2. 国旗に敬礼・国歌斉唱			全 員
3. 物故ライオン・献眼者に黙祷			全 員
4. ライオンズヒム斉唱			全 員
5. キャビネット役員紹介	キャビネット幹事		大貫 研二
6. 次期キャビネット役員紹介	次期キャビネット筆頭副幹事		大貫 淳司
7. 地区ガバナー挨拶			椎名 健二
8. 元国際理事挨拶			川島 正行
9. 前地区ガバナー挨拶			齊藤 正行
10. 挨拶	次期第1副地区ガバナー		鈴木 光成
	次期第2副地区ガバナー		鈴木 孝昌
11. 地区ガバナーエレクト方針説明			若林 純也
12. 各分科会、会場の説明	次期キャビネット幹事		関川 恵一
13. 休会宣言	地区ガバナー		椎名 健二

● 分科会 14:15～15:30

全体 A	全員	本館	大ホール
第1分科会	ゾーン・チェアパーソン	本館	集会室1号
第2分科会	クラブ会長	分館	集会室8号
第3分科会	クラブ幹事・会計	本館	大ホール
第4分科会	GLTリーダーシップ育成委員会	本館	集会室2号
第5分科会	GMT・GET委員会（会員増強・リテンション・EXT）	分館	集会室7号
第6分科会	WYPT委員会（献血・視力・糖尿病予防・小児がん）		集会室9号
第7分科会	LCIF・国際大会委員会		集会室10号
第8分科会	PR・IT・マーケティング委員会		
第9分科会	日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会		
第10分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	4F	集会室10号
第11分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	4F	集会室10号
全体 B	全員	本館	大ホール

● 全体会議[B] 15:45～17:00

会場：大ホール

	司会 次期キャビネット事務局長	石井慎太郎
1. 開会宣言・開会ゴング	地区ガバナー	椎名 健二
2. コーディネーター方針説明		
	次期 GLT コーディネーター	結城 健一
	次期 GMT コーディネーター	太田 敬
	次期 GET コーディネーター	藤田 匡史
	次期 WYPT コーディネーター	中山 景子
	次期 GST コーディネーター	渡辺まり恵
	次期 LCIF コーディネーター	倉留ラジエシュ
3. 分科会報告 及び 地区委員長方針発表		
第1分科会	地区ガバナー	椎名 健二
第2分科会	地区ガバナーエレクト	若林 純也
第3分科会	次期キャビネット幹事	関川 恵一
第4分科会	次期 GLT リーダーシップ育成委員長	大高 勝利
第5分科会	次期 GMT・GET 委員長(会員増強・リテンション・EXT)	富島 純一
第6分科会	次期 WYPT 委員長(献血・視力・糖尿病予防・小児がん)	刑部ともこ
第7分科会	次期 LCIF・国際大会委員長	植田 佳男
第8分科会	次期 PR・IT・マーケティング委員長	坂入 武史
第9分科会	次期日本ライオンズ・アラート・環境保全委員長	関 義則
第10分科会	次期ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長	黒沢 清訓
第11分科会	次期 YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員長	今井 章人
4. 次年度年次大会委員長挨拶	次年度年次大会委員長	吉澤 敦
5. 総 評	地区ガバナーエレクト	若林 純也
6. 閉会宣言・閉会ゴング	地区ガバナー	椎名 健二



2025-2026年度 ライオンズクラブ国際協会333-E地区 キャビネット組織図

元国際理事	川島正行	土浦北
地区名誉顧問会議長	椎名健二	牛久塞崎
元地区ガバナー	鈴木正昭	日立中央
	曙谷浩史	水戸
	萩原光輝	土浦北
	小 吹 勇	石岡
	大竹伸一	水戸葵
	下川利澄	鹿島
	中嶋正昭	日立
	川島正行	土浦北
	根本昌卓	取手
	大高直晴	水戸
	山 川 洋	牛久塞崎
	岡野良男	土浦環
	渡 辺 博	土浦
	齊藤正行	筑波
	椎名健二	牛久塞崎

地区ガバナー	ガバナーズローガン
若林 純也 (水戸葵)	水戸葵
GATファシリテーター	勝田
地区ガバナー	若林 純也
第1副地区ガバナー	鈴木 光成
第2副地区ガバナー	鈴木 孝昌

キャビネット幹事	関川 恵一	水戸葵
キャビネット会計	大窪 聡史	水戸葵
キャビネット事務局長	石井 慎太郎	水戸葵

キャビネット事務局	〒310-0803 水戸市麻原3-4-25 TEL 029-366-7750 FAX 029-366-7751 mail info@c333-e.com
-----------	---

監査委員	
委員長	
委員	
委員	

地区グローバル・アクション・チーム【GAT】

【LCIF】	LCIFコーディネーター	筑波ヤング
正	倉留ラジエシユ	筑波ヤング
副	北島 智希	筑波ヤング

【GMT】グローバルメンバシップチーム	地区GMTコーディネーター	筑波
	太田 敬	土浦

【GLT】グローバルリーダーシップチーム	地区GLTコーディネーター	土浦亀城
	結城 健一	土浦亀城

【GST】グローバルサービスチーム	地区GSTコーディネーター	つくば0AK
	渡辺 まり恵	つくば0AK

LCIF・国際大会委員会	委員長	植田佳男	水戸葵
	副委員長	高倉美佳	ひたちなかバースト

GMT・GET委員会 (会員増強リテンション・EXT)	委員長	富島 純一	つくば西
	副委員長	塚原 健太	つくば西
	副委員長	林 和 代	神栖

GLTリーダーシップ育成委員会	委員長	大高 勝利	水戸
	副委員長	矢口 陸人	水戸西

ライオンズクエスト薬物乱用防止委員会	委員長	黒沢 清訓	水戸北
	副委員長	喜田 和弘	水戸西
	副委員長	大川 佳史	東海

地区災害対策本部 (緊急援助資金)	地区ガバナー	若林 純也	水戸葵
	第1副地区ガバナー	鈴木 光成	勝田
	第2副地区ガバナー	鈴木孝昌	日立中央
	キャビネット幹事	関川 恵一	水戸葵
	キャビネット会計	大窪 聡史	水戸葵
	アラート委員長	関 義則	水戸
	緊急援助資金委員	2R1Z ZC 村田 豊	水戸
	ゾーン・チェアパーソン		※災害発生ゾーンZC

リジョン・ゾーン再構築討問会議	議長	第1副地区ガバナー	水戸葵
	副議長	第2副地区ガバナー	水戸葵
	顧問	地区名誉顧問会議長	水戸葵
	委員	GETコーディネーター	水戸葵
	委員	ゾーン・チェアパーソン	水戸葵
	委員	GMT・GET委員長	水戸葵
		クラブ会長	

YOE・レオ・青少年育成食料支援委員会	委員長	今井 章人	水戸西
	副委員長	皆川 次郎	水戸西
	副委員長	坂本 哲也	那珂湊

PR・IT・マーケティング委員会	委員長	坂入 武史	筑波
	副委員長	中崎 直子	つくばHOPE

日本ライオンズ・アラート環境保全委員会	委員長	関 義則	水戸
	副委員長	長谷部 雅也	水戸

キャビネット副幹事	大貫洋司	水戸葵	藤枝進一	水戸西
	和田義秀	日立中央	高岡裕子	水戸777k
	永井雄一	勝田	福島典昭	石岡
	森澤吉大	勝田	上田亜沙美	つくば0AK
	大津常行	水戸葵	木村浩己	岩瀬



■クラブ支部	日立桜LC 多賀桜支部	4R1Z
1R1Z	水戸葵LC アラート支部	4R1Z
2R1Z	土浦LC フードパントリー支部	4R2Z
4R1Z	土浦北LC ロータス支部	4R2Z
4R1Z	霞ヶ浦LC わかさぎ支部	4R2Z
	霞ヶ浦LC しろほ支部	4R2Z
	つくば中央LC ハブクキャスティング支部	4R2Z
	つくば中央LC ネットワーク支部	4R2Z
	筑波LC へレクセラ支部	4R2Z
	筑波LC さくらProject支部	4R2Z
	筑波LC オールフレンド支部	4R2Z
	つくば0AKLC Art支部	4R2Z
	つくば0AKLC つくば大人の憩い場支部	4R2Z
	つくば0AKLC ネットワーク支部	4R2Z
	筑波ヤングLC ネクストステップ支部	4R2Z
	筑波ヤングLC まんぶく支部	4R2Z
	牛久塞崎LC 牛久塞崎LC まんぶく支部	5R1Z
	つくば0AKLC 鎮支部	6R2Z
	古河LC UFK支部	7R1Z
	岩井LC 華の会支部	7R2Z
	茨城東LC West Future支部	7R2Z



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
地区ガバナー 椎名 健二

本日ここに、若林純也地区ガバナーエレクトの主導のもと、「次期キャビネット構成員・クラブ3役研修会」が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

若林純也地区ガバナーエレクトは、2R1Z 水戸葵ライオンズクラブにご所属です。水戸の地から地区ガバナーが誕生するのは、実に6年ぶりとなります。近年は県南地区からの地区ガバナーが続いておりましたので、茨城の中心地である水戸からの若林地区ガバナーの誕生に、大いに期待が寄せられております。

次期キャビネット構成員・クラブ3役に就任される皆様、このたびは誠におめでとうございます。ライオンズクラブにおける役職の任期は、原則として一年です。本日開催される本研修会は、新年度開始の7月を前に、地区ガバナーの方針を正しく理解し、ご自身の役職における責任と役割を認識したうえで、それを行動に移すための大切な準備の場であります。

皆様におかれましては、期待とともに不安もお感じのことと存じますが、この一年間、どうか思い切りライオンズ活動に励んでいただき、充実した時をお過ごしいただければと願っております。

ライオンズクラブ活動の醍醐味は、世のため人のために尽くす奉仕であると同時に、多くのメンバーとの出会いにあります。キャビネット構成員、クラブ三役という役職は、数多くの仲間と知り合い、絆を深める絶好の機会でもあります。ぜひその機会を活かし、多くの出会いと交流を通じて、より豊かな奉仕活動を築いていただければ幸いです。

次期地区ガバナースローガンは「MISSION1.5 IMPACT!」です。このスローガンのもと若林地区ガバナーエレクトを支え、活気に満ちたライオンズ活動の一年にしてまいりましょう。

結びに、来年の今頃、皆様が「この役職を引き受けて本当に良かった」と心から思えるような一年となることを、心よりご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

We Serve!



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会
元国際理事 川島 正行

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 DGE 若林純也「次期キャビネット構成員・クラブ3役研修会」へお集まりいただき感謝申し上げます。

本日参加頂いた皆さんは不安と希望で胸を弾ませている事と思いますが、新年度の方向性は DGE 若林純也の方針を聞いて頂き、その手法については各担当コーディネーター・委員長と共に考え ZC と共に考動して頂きたいと思っております。

昨年度国際会長パティ・ヒルは MISSION1.5 を発信しました。これは 2027 年 6 月末迄に世界の会員を 150 万人にし、私たちの奉仕を年間 10 億人に届けると言うものです。

ある地域のガバナーの皆さんとお話をするとう開口一番 人口減少で会員増強・LCIF が出来ない というリーダーがいますが、日本全国 会員増強が出来ている地域は LCIF も出来る。数字は比例しています。結局私達一人ひとりのやる気にかかっています。

私達ライオンズ活動の一年において「出来る と やる」は違います。ライオンズ活動の楽しさはやりがいと達成感、それぞれの役職においてクラブ会員の皆さんに感じて頂けるよう強くお願い致します。

新年度を望むにあたり Changing the world 世界を変えるには、物の見方、考え方を変えなければいけません。時代は大きく変わり地域が求める奉仕も大きく変わっています。

ライオンズの本分は「友愛と相互理解の精神」

そしてライオンズの定義は「奉仕する事」

DGE 若林純也はじめ皆様におかれましては既に心は走り始めている事と思いますが、地区においてはガバナーの下ライオンズクラブ国際協会の方向性が間違いなく伝わるよう協力をお願い致します。

結びに、本日の「次期キャビネット構成員・クラブ3役研修会」が皆様にとって一年の始まりにふさわしい研修会となり、併せて皆様のご健康・ご活躍をご祈念し挨拶とさせていただきます。

We Serve !



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
地区ガバナーエレクト 若林 純也

次期キャビネット構成員・クラブ三役を務められます役員の方、本日はご多用のところ次期に向けた研修会にお集まりいただき誠にありがとうございます。ライオンズクラブのリーダーに着任されますこと敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

2025年度のスローガンは「MISSION1.5 IMPACT!」とさせていただきます。ライオンズにおける会員減少の問題は数年来言われ続けており、各地域において会員増強、クラブ活性にご苦労されているクラブも多いのではなかろうかと考えております。1993年ライオンズが16万8千人になったところをピークに、以来30年間会員減少は止められない現状です。この問題はそれほどまでに大きな課題といえます。

これを解決していくためにはこれまでのライオンズの常識や価値観を大胆に転換し、新時代のライオンズクラブを構築していかなくてはなりません。常識を変えることは抵抗感が伴いパワーが必要ですが、先に述べたとおり会員減少は30年間止めることができている大きな問題ですから、内外に響くImpactある改革を実践していかなければなりません。Impactとは効果・影響・打撃など幅広い意味を持ちますが、社会に対してやライオンズの組織において、奉仕活動で、わたしたちが起こすアクションやライオンそのものがImpactであることを希望します。ライオンズの活性はわたしたち役員の役目であると同時に、ノンライオンから見た時のライオンズはどう映るか、ここに着手していく必要があります。ライオンズに入ると忙しい、入る余裕がない、会費が高い、ライオンズは偉い人の集まり、などのイメージなど、入会の障壁となっている部分にはすべてImpactをもって臨んでまいります。ライオンには分かっているライオンズクラブの素晴らしさがあります。だからこそわたしたちはライオンであり続けています。より仲間を増やし、利害なく見返りを求めず、奉仕で社会に貢献し喜びを分かち合う、ライオンズは自身の人生の一部となり生涯の真の友ができる、これほど素晴らしい団体はライオンズのほかになく、新たなライオンを誕生させることは人生を豊かにする新しい仲間をつくることとなります。

We Serve、我々は奉仕する。ライオンズクラブである私たちの目的は唯一このひとつであり、この想いを胸にいま原点に立ち返り、歴史あるライオンズを活性させ、世界のライオンズを発展させ、地域、世界にWe Serveで強く貢献してまいります。

新しい時代のライオンズクラブをわたしたちがつくるためチャレンジを楽しみImpactある1年をともに走ってまいります。よろしく願い申し上げます。

We Serve



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期第1副地区ガバナー 鈴木光成

333-E 地区の皆様、ご多用と存じますが本日の三役研修会にお集まりを頂きまして心より感謝とお礼を申し上げます。「ありがとうございます。」

年次大会での席で、皆様からのご信任を賜りまして、次期第1副地区ガバナー予定者としての大役をお受けさせて頂くこととなりました。皆様に失望させることが無いよう、しっかりと努めていく所存でございます。

今期、椎名 健二地区ガバナーのスローガンでございます「新たな時代への挑戦 ～絆を深め、未来を創る～」のもと、本当に皆様には多大なるご支援ご協力を頂きました。

私自身、このスローガンをしっかりと継続をしていく為に沢山のことを学び、知ることが出来ました。自分が目標とし掲げる言葉は人に希望や夢をしっかりと実現に向けていく発声である。また言葉にしたことを行うことを一歩として共に、バトンを繋ぎ渡していくことが一番大変とされる継続の永遠の道であることを教えて頂きました。

国際的なボランティア活動を行っている私達ライオンズクラブメンバーは、「We Serve 我々は奉仕する」と、333-E 地区の皆様と一緒に声を大きく、胸を張って言えるようご協力の程宜しくお願い致します。

若林 純也ガバナーエレクトのスローガンは「MISSION 1.5 IMPACT!」です。333-E 地区の皆さんとこのスローガンを目標として、協力して頑張りましょう。しっかりと目標値をもって、達成させることため汗水を流しながらお互いに協力しあうことで信頼や友情、お互いを尊重し合える仲間になっていきましょう。それが楽しく・仲良くライオンズクラブ、ボランティア活動の必要で大切なことでもあると思います。

これから船出をする若林 純也丸の船がしっかりと岸边に辿りつくまで皆様と支えて行くことをお誓い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

これからも宜しくお願い致します。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期第 2 副地区ガバナー 鈴木 孝昌

このたび、次期第 2 副地区ガバナーを拝命いたしました、1R1Z 日立中央ライオンズクラブ所属の L 鈴木孝昌です。去る 4 月 19 日に開催されました第 71 回 333-E 地区年次大会代議員総会におきましてご信任賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。

次年度は若林純也地区ガバナーエレクトを支えるガバナーチームの一員として、次期地区ガバナースローガン「MISSION 1.5 IMPACT!」のもと、地区内クラブの皆様がより一層奉仕活動に邁進できるよう、誠心誠意努めてまいります。

国際協会が推進する「MISSION 1.5」は 2027 年までに世界のライオンズクラブメンバーを 150 万人に増やすという取り組みです。奉仕の継続には会員増強が不可欠であり、このスローガンはその意思を明確に示すものです。皆様と力を合わせ、より多くの仲間を迎え、奉仕の輪を広げて参りたいと考えております。

また LCIF においてはキャンペーン 100 が再始動しました。ガバナーチームとして正確な情報提供に努め、一人でも多くのメンバーに LCIF に対する理解を深めていただけるよう貢献してまいります。

現在、333-E 地区には 8 つの委員会が存在しますが、次年度の委員会構成においては 8 つの内 5 つが組織改編されます。特に次年度からは「GET: Global Extension Team」や「WYPT: Women Young People Team」というあらたなチームが誕生します。三役及び地区役員経験者のみなさまにおかれましても、ぜひ本日の研修で最新情報をご確認いただき、クラブや委員会運営にお役立てください。

本日の三役研修会が、次年度への有意義な一歩となりますことを心よりご祈念申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期キャビネット幹事 関川 恵一

この度、2025-2026 年度ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区キャビネット幹事を拝命いたしました、2R1Z 水戸葵ライオンズクラブ所属の L 関川恵一です。

若林純也地区ガバナーエレクトのリーダーシップのもと、地区キャビネットの存在意義の 1 つである「クラブ運営の支援」を各クラブが地域社会において、より一層輝かしい奉仕活動を展開できるよう、精一杯職務を遂行してまいります。各クラブの皆様の貴重な声に真摯に耳を傾け、共に課題に立ち向かい、それぞれの地域がより豊かに発展するための礎となるよう、精一杯サポートしていくことをお約束いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

次期地区ガバナースローガン「MISSION1.5 IMPACT！」は、地区ガバナー方針である「Mission1.5/LCI・LCIF/Impact/Action/Enjoy/Diversity/We Serve」という 7 つの要素から構成されています。キャビネット幹事として、この方針を理解し、各クラブがそれぞれの地域特性を最大限に活かし、「We Serve」の精神で力強く、そして効果的に実践できるよう、情報の提供と連携を深めてまいります。具体的な支援策としては、会員増強のための実践的なノウハウの提供、そして LCIF への貢献意識を高めるための啓蒙啓発活動などを通して、各クラブの活動を多角的に支援出来ればと考えます。

地区内に存在する多様性 (Diversity) を力に変え、各クラブが楽しみながら (Enjoy) 主体的に行動 (Action) することで、地域社会に持続可能 (8 つのグローバル重点分野と SDGs) で、目に見える (Impact) を創造できるよう、クラブ間の連携を強化できればと思います。

結びに、皆様と共に、この活気ある 333-E 地区をさらに活気あふれる地区へと創りあげられますよう、改めて精一杯努めてまいりますので、何卒ご理解ご協力のほど、心よりお願い申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期キャビネット会計 大窪聡史

この度、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区において大役を命ぜられ、その重責に身の引き締まる思いで一杯です。

微力ではございますが、先輩各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力を賜りながら、次期地区ガバナーズローガンである「MISSION1.5 IMPACT!」、そして7つの方針を胸に、若林純也地区ガバナーエレクトの女房役として職務を全うする決意でございます。

さて、世界に目を向けますと、戦争や紛争、地球規模で発生している自然災害など、ますます混迷を極める世界情勢に加え、我が国においては物価高による個人消費の落ち込み、各業界での人手不足は深刻であり、日本経済全体としては持ち直しの傾向を示してはいるものの、未だに多くの課題が山積みであります。

長い歴史の中でゆるぎなく着々と成長してきたライオンズクラブも、年々会員数が減少し、会費収入も減少するなか、皆様からお預かりした浄財を「義を明らかにして利を計らず」を心得として、合理的で効果的な使途を考察して参りたいと思いません。

未だ勉強中の若輩者でありますゆえ、至らぬ点が多々あるかとは思いますが、一年間精一杯頑張りますので、皆様方の絶大なるご協力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GLT コーディネーター 結城 健一

2025-2026 年度、GLT コーディネーターを仰せつかりました 4R1Z 土浦亀城ライオンズクラブ所属、L 結城健一です。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

若林純也地区ガバナーエレクトの次期地区ガバナースローガン「MISSION1.5 IMPACT!」の下ガバナー方針をしっかりと受けとめながら、地区 GAT として一致団結し若林地区ガバナーエレクトを支え、地区運営を推進していきたいと考えております。また、GLT リーダーシップ育成委員会としましては、委員長を中心に委員会メンバーの皆さまと以下の点について取り組んでまいります。

- * 次世代リーダーの発掘、育成
- * ライオンポータル内ライオンズ学習センターの利用推進
- * クラブの会員オリエンテーションの開催支援
- * 地区内のセミナーや交流会の企画開催

これらを通じて、地区メンバーの皆様とコミュニケーションを大切にしながらサーバントリーダーシップを基に「奉仕」の精神とこれまでの経験を活かし、クラブ活性化、メンバー皆様のライオンズスキルアップのお役に立てるように一所懸命努めてまいります。

結びに、ライオンズクラブメンバーはたくさんの地域社会と人々に愛情を注いでまいりました。そして、地域社会からの感謝と感動で報われることがメンバーの意識を高めさらなる力となっています。

地区メンバーの皆様には友愛と相互理解の精神の下、深いご理解とご支援ご協力をお願い申し上げご挨拶に変えさせていただきます。

「We Serve」



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GMT コーディネーター 太田 敬

2025-2026 年度 GMT コーディネーターを仰せつかりました 4R2Z 筑波ライオンズクラブ所属の L 太田敬です。地区の皆様一年間宜しくお願い致します。

若林純也ガバナーエレクトのスローガン「MISSION1.5 IMPACT！」を基軸に 333-E 地区全体が盛り上がる為の活動を一年間挑戦し続け、努力していきます。We serve の精神をもつメンバーの皆さまと様々な活動を通じ、絆を深め、「やってよかった！」「楽しかった！」と思えるよう、皆さまのお力をお借りしながら委員会活動を進めていきたいと考えています。

GMT 委員会のお役目は「会員増強」この 1 点です。次期地区ガバナーズローガンにある MISSION1.5 を達成するために、E 地区では会員純増 150 人を達成することを目標に一年間委員会活動を進めていきます。

「会員増強」は何よりも大きな奉仕であること、また新たな会員が増強されることによりクラブに新たな風が吹き、クラブが盛り上がり、しいては奉仕活動が昇華され地域社会が豊かな形になると考えております。

私たち E 地区はこれからも地域クラブ同士での協力体制・連携の強化を図るべく、各ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、各メンバーの皆様と手を携えて、共に奉仕と友情の輪を広げ、各コーディネーターと情報を共有して声掛け運動・退会防止・エクステンションを推進して参ります。

最後に、7 月からスタートする来期は、「やってよかった！」「楽しかった！」と私自身がどのようにすることで思えるのか、またメンバーの皆様が実感することが出来るのかを、皆様の貴重なご意見を伺いながら形にしていければ幸いです。

一年間精一杯務めて参ります。メンバーの皆様からのご理解とご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

We Serve



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GET コーディネーター 藤田 匡史

このたび、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区において、若林純也ガバナーエレクトのもと「GET（グローバル・エクステンションチーム）コーディネーター」という大役を拝命いたしました。身に余る光栄とともに、その責任の重さを感じております。

私が所属する土浦ライオンズクラブは、1965年に設立され、長きにわたり地域に根ざした奉仕活動を実践してまいりました。私自身も、クラブの活動の中で多くの学びと経験を重ねてきましたが、今回の GET コーディネーターとしての任務は、クラブの枠を超えて E 地区全体の未来を見据える重要な使命であると捉えております。

GET の最大の目的は、新クラブの結成と地区の純増目標(+150名)の達成にあります。人口減少・高齢化・地域分散が進む現在の社会情勢において、ライオンズクラブがこれからの社会的な存在意義を保ち続けるためには、新しい仲間を迎え入れる仕組みと土壌を広げていくことが必要不可欠です。

GET の活動では、既存クラブへの入会が難しい候補者を柔軟に受け入れることのできる「特化型クラブ（SCP）」の結成が非常に重要なポイントとなります。趣味や職業、活動目的などを軸に結成される SCP は、これまでのクラブの枠組みとは異なる価値観を持つ方々にとって、新たな参加の扉となります。

企業、団体、地域サークル、コミュニティ、また大学を中心としたキャンパスクラブなど、それぞれの地域・環境に合った新クラブの立ち上げが求められています。これらは、GET 単独ではなく、GMT（グローバル・メンバーシップチーム）や既存クラブとの連携によってこそ成り立つものであり、私は調整役として、常に現場の声を聞きながら活動を進めていきたいと考えております。

また、地域におけるライオンズの「空白地帯」すなわち、現在クラブが存在していない地域に目を向け、そこに新たな拠点を築くことも私たちの重要な任務です。奉仕の心を持ち、地域の課題に真摯に向き合う意志を持つ人は、どの地域にも必ず存在します。その“芽”を見つけ、丁寧に育てていくことが、ライオンズの次の 100 年を支える礎になると信じております。

ガバナーの掲げる目標の達成に向け、地区の皆様と密に連携を取りながら、少しでも多くの「新たなつながり」を生み出していけるよう尽力してまいります。

今後ともご理解とご協力、そして温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

We Serve



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 WYPT コーディネーター 中山 景子

2025-2026 年度 若林純也地区ガバナーエレクトのもと、WYPT コーディネーターを仰せつかりました、7R2Z 岩井 LC 所属 L 中山景子と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

FWT 委員会は WYPT 委員会 (Women Young People Team) となりました。女性と若者の可能性を最大限に引き出し、その力を地域社会や国際社会に活かしていくことを目的とし、次期地区ガバナースローガン「MISSION1.5 IMPACT!」のもと、性別や世代を超えて多様な視点を尊重し合い、共に未来を築くための Impact の高い奉仕を届けてまいります。

私たちが重点的に取り組むテーマは、「献血推進」「視力保護」「糖尿病予防」「小児がん支援」の4つの分野です。いずれも、命と健康に深く関わる重要なテーマであり、ライオンズクラブとして継続的に向き合っていく課題です。

1. 献血推進

若年層への啓発を強化し、命をつなぐ大切さを広めていきます。

2. 視力保護

地域での啓発活動を通じて早期発見・早期対応の大切さを伝えていきます。

3. 糖尿病予防

日々の生活習慣の見直しを促すことで、健康寿命の延伸に寄与していきます。

4. 小児がん支援

333-E 地区では、ヘアードネーション、小児がん支援のレモネードスタンド活動へのご理解が深まり、闘病中の子供たちとその家族に寄り添い、心の支援を届けていきます。

この1年間、333-E 地区の皆様と共に、活動できることを楽しみにしております。微力ではございますが、精一杯努めてまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

We Serve



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GST コーディネーター 渡辺 まり恵

2025-2026 年度 GST コーディネーターを拝命致しました、4R2Z つくば OAK ライオンズクラブ所属 L 渡辺まり恵と申します。

当年度 GST（グローバルサービスチーム）はライオンズクエスト・薬物防止委員会、PR・IT・マーケティング委員会、日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会、YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会の 4 委員会で構成され、主に奉仕活動と PR を担当させていただきます。

若林純也地区ガバナーエレクトが掲げる次期地区ガバナースローガンは、国際協会によって推進されている会員増強目標をダイレクトに反映した『MISSION1.5 IMPACT!』です。会員増強そして退会防止を実現する為には、会員ならびに新入会員候補者の達成感や活動意欲の源となる奉仕活動の充実が必要不可欠であると考えられます。また、クラブと地域社会とを繋げ、地域にクラブの存在を示す機会をもたらすのも奉仕活動です。奉仕と社交のほどよき調和こそライオンズの良さであるとも言われています。

4 委員会の委員長・副委員長・地区委員方と共に、これまで地区内各クラブの皆様が取り組まれてきた奉仕活動の伝統を大切にしながら、時代や地域のニーズに応じた活動の在り方について考え行動して参りたいと存じます。併せて、IMPACT のある PR についても模索して参ります。ゾーン・チェアパーソンの皆様、クラブ役員の皆様には奉仕活動の現状や課題について、率直なご意見やご指導を賜れましたら幸いです。

333-E 地区の為に一年間精一杯務めて参ります。ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

We Serve!



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 LCIF コーディネーター 倉留 ラジエシュ

MISSION1.5 IMPACT! LCIF を通して目的を持って奉仕する

333-E 地区のライオンズの皆様

「MISSION1.5 IMPACT!」は、若林純也地区ガバナーエレクトの感動的なビジョンであり、私たち一人ひとりに奉仕を強化し、活動範囲を広げ、私たちが関わる人々の人生に永続的な影響を与え続けるよう呼びかけています。

これを実現するための最も強力な方法の一つは、ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) への支援です。LCIF は私たちの財団であり、奉仕のパートナーであり、緊急時には私たちの命綱です。災害救援から小児がんプログラム、視力ケア、青少年支援、そして世界的な人道支援活動まで、LCIF はライオンズが地域レベルをはるかに超えた規模で奉仕することを可能にします。

LCIF コーディネーターとして、地区内のすべてのクラブと会員の皆様に、このミッションへの参加をお願いいたします。寄付、クラブ募金活動、あるいは財団の世界的な影響力を広める活動など、LCIF への積極的な貢献を通して、私たちの決意を示しましょう。

団結と献身をもって、私たちは「MISSION1.5 IMPACT!」のビジョンを真に実現し、ライオンズクラブ会員の若林純也地区ガバナーエレクトのリーダーシップのもと、地区の奉仕活動をさらに発展させることができます。

共に奉仕を



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GLT リーダーシップ育成委員長 大高 勝利

GLT リーダーシップ育成委員会では、次期地区ガバナー方針「Impact」「Action」「Enjoy」「Diversity」に重点を置き「研修の質を高め、地域リーダー発掘・育成を図る！」を委員会目標に、事業を行ってまいりたいと思っております。

それによって、「リーダー発掘・育成」「ライオンズスキルの引き上げ」に繋がるよう積極的な事業・運営を心掛けてまいります。

まずは、次期地区ガバナーの任務である「効果的なクラブ運営の徹底」や「クラブレベルと地区レベルでリーダー育成と技能開発を提供」することで、自らが行動を出来る人財を増やしてまいれば、この 333-E 地区全体がより良い地域へとなっていくと確信しております。

そして、次期地区ガバナースローガン『MISSION1.5 IMPACT!』を念頭に、通年で行われる研修会に変化をもってより個々の、よりクラブの成長に繋がっていくものにしていきたいと思っております。

また、具体的には組織強化を目的としたクラブ役員、ゾーン・チェアパーソンなどメンバーに向けた研修会、次世代のリーダー発掘及び指導を目的とした研修会、会員サービス向上・リテンションを目的とした会員オリエンテーション開催支援などを行っていききたいと思います。

さらに、次期地区ガバナーの想いである 333-E 地区の会員増強に繋げる「ライオンであることの価値を高め、ノンライオンにとって魅力ある団体であるため、ライオンズ研修以外のビジネス系セミナー・ビジネスマッチングや異業種交流会等の企画開催」など新規事業も具現化し行ってまいればと考えております。

全ての事業を通し、GLT リーダーシップ育成委員会の目標を達成していくことで、この地域が素晴らしい人財による活力ある地域へと変えていけるよう、全力で邁進してまいればと存じます。

1年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 GMT・GET 委員長 富島 純一

このたび若林純也ガバナーエレクトのもと、「MISSION1.5 IMPACT！」を旗印とする2025-2026年度 GMT 委員長を拝命いたしました、4R2Z つくば西 LC 所属 富島純一でございます。

次期ガバナー方針では、会員純増 150 名、新クラブ 2 クラブの結成、LCIF 地区寄付 51 万ドル、そして女性会員率 30%の実現など、未来を切り拓く大胆な目標を掲げております。GMT として私は「増やす」「守る」「育てる」の 3 つの軸で行動いたします。

第 1 に、地域・職域・世代を越えた潜在候補者を掘り起こし、クラブの魅力を伝えるリクルート活動を体系化します。

第 2 に、既存会員の満足度向上策として例会の質を高め、ライオンポータルを活用した研修と交流により退会防止を図ります。

第 3 に、新入会員が次のメンバーを招き入れる好循環を生むべく、GLT・GST・WYPT と連携したオリエンテーションと奉仕機会の創出に努めます。

そして、10 月 8 日のライオンズ奉仕デー「地区内同日 100%例会チャレンジ」では、333-E 地区全体として地域にインパクトを示したいと存じます。また、多様性を重視し、女性や若い世代が輝ける環境づくりにも注力いたします。

“We Serve” 奉仕の精神を胸に、1 人でも多くの仲間と共に行動し、地区目標を必ず達成する所存です。皆様の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 WYPT 委員長 刑部 ともこ

2025-2026 年度、若林純也地区ガバナーエレクトのもと、WYPT 委員長を拝命いたしました、2R1Z 水戸チアフルライオンズクラブ所属 L 刑部ともこでございます。

新年度より名称が「WYPT 委員会」に変更となり、「献血・視力・糖尿病予防・小児がん」と担当内容も大幅に変更となりました。

次期地区ガバナースローガン「MISSION1.5 IMPACT!」を達成すべく、委員会目標は、「Impact の高い奉仕・SDGs で女性・若者・多様性のある会員増強」です。

詳細目標は、下記となります。

GMT・GET 委員会と連携をさせていただきながら、2クラブ結成の推進。

5名から結成可能なクラブ支部結成、並びに正クラブ結成への推進。

地区会員増員並びに女性会員率 30%達成。

レモネードスタンドやヘアドネーション活動を行い、小児がんの子どもたちへの支援とライオンズクラブを広く知っていただくための広報活動。

献血活動推進、アイバンクの広報活動、並びに糖尿病簡易検査を通しての啓発活動。

まずは、様々な活動を通して、広くライオンズクラブの活動を知っていただくことに尽力し、女性や若い方々に興味を持っていただき、入会へつなげていけるよう努力をしていきたいと考えております。

女性会員の先駆者は 1925 年の国際大会にゲストスピーカーとして招かれ、ライオンズに対して「暗闇と戦う盲人のための騎士になってください」と訴えたヘレン・ケラー女史です。満場一致で名誉会員になられています。

その後、ライオンズが視力関係事業に重点を置くようになるきっかけを作ってくれたことは、皆様よくご存知のことと思います。

その国際大会の 100 年目にあたる 2025 年、素晴らしい先駆者の方々に続いていけるよう、微力ながら精一杯奉仕活動に取り組んで参ります。

333-E 地区の皆様方におかれましては、ご指導ご鞭撻、またご協力を賜りますよう、1 年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 LCIF・国際大会委員長 植田 佳男

2025-2026 年度 LCIF・国際大会委員長を仰せつかりました 2R1Z 水戸葵ライオンズクラブ所属の L 植田 佳男（うえだよしお）でございます。

333-E 地区の皆様、1 年間どうぞ宜しくお願い致します。若林ガバナーエレクトが掲げられたガバナーズローガン「MISSION1.5 IMPACT!」の下、メンバーの皆様と力を合わせ大きな力となるようご協力の程、宜しくお願い致します。

1. LCIF（ライオンズクラブ国際財団）

LCIF 寄付は、緊急・災害支援・視力保護・青少年育成・環境保全、そして新たなる社会課題への対応等、支援の分野は多岐にわたります。自分はこの財団の力をより多くのメンバーに知って頂き、一人の力では出来ない事も多くのメンバーとならば成し遂げられる。それがライオンズクラブの強みであり LCIF の本質だと思います。

そして若林キャビネットの目標額 \$ 51 万を必達するため、LCIF が世界中にどのような支援をしているかを公式訪問や研修会を通して皆様と一緒に学んで行きたいと思えます。

\$ 100 寄付はメンバー全員の協力で！ \$ 1000 寄付は出来る限り多くのメンバーで！
ご協力の程、宜しくお願い致します。

2. 国際大会参加について

国際大会・OSEAL フォーラムは世界中からライオンズクラブ会員が一堂に会し、異なる文化や地域の活動に触れる事で、奉仕の幅や考え方が広がり自クラブの活動にも新たな視点を取り入れるきっかけとなる大会です。またガバナーがガバナーエレクトのリボンを外し、新ガバナー誕生に立ち会う事が出来ます。共に活動する仲間が世界中にいるという事実を肌で感じ交流と友情を深め未来に向けた奉仕の在り方を共有する大変貴重な機会なので是非とも多くのメンバーで参加して大いに大会を盛り上げましょう。

< 第 62 回 東洋・東南アジアフォーラム OSEAL フォーラム >

開催日 : 2025 年 10 月 23 日 (木) ~ 26 日 (日)

開催場所 : 北海道 札幌

< 第 108 回 国際大会 >

開催日 : 2026 年 7 月 3 日 (金) ~ 7 日 (火)

開催場所 : 中華人民共和国 香港特別行政区



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 PR・IT・マーケティング委員長 坂入 武史

2025-2026 年度、PR・IT・マーケティング委員長を仰せつかりました、4R2Z 筑波ライオンズクラブ所属 L 坂入武史と申します。333-E 地区の皆様、1 年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

若林純也地区ガバナーエレクトの掲げる次期地区ガバナースローガン「MISSION1.5 IMPACT！」のもと、ライオンズクラブの活動と社会への貢献を強化していく所存です。現代社会において、マーケティング、PR、そして IT は、組織の成長と発展に不可欠な要素です。目まぐるしく変化する社会情勢や技術革新に対応し、常に新しい視点を取り入れながら、効果的な戦略を立案・実行していくことが、私たちの重要な使命だと感じています。

PR・IT・マーケティング委員会では3つの柱をもとに活動して参ります。

1. PR

継続事業の茨城新聞社ライオンズサイト定期配信でのクラブアクティビティ等の掲載とあわせて、ターゲットを明確にしながら SNS の活用など様々な手法を駆使してライオンズ組織内だけではなく広く一般の方々へも PR して参ります。

2. IT

「Lion Portal」の各クラブへの活用周知及び周知方法を確立し、活用促進に努めて参ります。

3. マーケティング

時代の変化と共にライオンズクラブが社会、地域から必要とされる課題を把握し、より必要とされる奉仕活動へと繋げ、地域社会と共に発展を目指します。

次期地区ガバナーの方針であり委員会目標の新時代ライオンズの創造に貢献できるよう、1 年間精一杯努めて参ります。

メンバーの皆様からのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期日本ライオンズ・アラート・環境保全委員長 関 義則

2025-2026 年度 日本ライオンズ・アラート・環境保全委員長を仰せつかりました
L 関 義則と申します。所属クラブは水戸ライオンズクラブです。

次期ガバナー方針「Mission1.5〈会員強化・組織強化〉」「Impact〈影響・効果・衝突〉」のもと一年間活動して参りますので宜しくお願い致します。

昨年まではマーケティング・PR・IT と同じ委員会でしたが、次期から日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会となり活動内容は継続事業と併せて活動していきます。

若林カバナーエレクトは 14 年前の東日本大震災からたびたびの災害があると現地に入り素早い行動をお越し、大変ご尽力されております。若林ガバナーエレクトを支え、皆様のお力をお借りして We Serve のもと、各ゾーン・チェアパーソン、各地区委員、各クラブ三役の皆様のご協力を頂きながら、活動して参りますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

【事業方向】

1. 日本ライオンズ
 - ・日本ライオンズとの連携を図っていきます。

2. アラート
 - ・災害発生時、地区内外における初動作業の確認
333-E 地区として災害発生時における、初動作業・連絡・誘導・支援を
333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則を運用していきます。
 - ・他団体との災害提携

3. 環境保全
 - ・人間の活動による環境への負担を低減し地球温暖化や生物多様の損失、公害発生などを抑制する取り組みの推進
 - ・各クラブで SDGs の確認
 - ・植林・植樹の推進
 - ・犬猫殺処分ゼロを目指す事業の推進

以上、333-E 地区の皆様のご指導とご協力を頂きながら、一年間宜しくお願いいたします。



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 黒澤 清訓

2025-2026 年度 ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長を仰せつかりました 2R1Z 水戸北 LC 所属の L 黒澤清訓と申します。皆様、一年間よろしく願いたします。

今年度のガバナーズローガン「MISSION1.5 IMPACT!」を念頭に置き、一年間活動して参ります。

当委員会は、地域と世界の未来を創造していく青少年を育成するという重要な役割を担っております。青少年の健康で健全な成長を助けるための具体的な活動の 2 本柱が、ライオンズクエストと薬物乱用防止活動です。

現代社会は日々いろいろな事が変化し、多様性社会となってきています。そのような中、子どもたちを教え導き、育んでいく大人たちにとっても、日々の生活を送っていくことが大変な社会となっていますが、この社会を健やかに生きていくためのライフスキルを身に着けていくことを学ぶのがライオンズクエストです。333-E 地区は複合の他の地区に比べて、とても活発に活動していますが、地区内でもゾーンによってバラツキがあります。これを各ゾーンに全面的に浸透させていきたいと思っています。

また、若者だけでなく、児童や生徒にまでもその触手を伸ばしている薬物乱用の問題があります。関わってしまったからでは遅いのです。「ダメ！ゼッタイ！」をより一層浸透させていきたいです。

333-E 地区メンバーの皆様はもとより内局員の皆様、地区委員の皆様のご協力をいただきながら、いままで以上の「Impact」をもった委員会活動を邁進してまいります。一年間、委員長職を精一杯努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻、ご協力を賜りますよう、よろしく願いたします。

[委員会事業]

- ① ライオンズクエストワークショップの開催 (2025 年夏期 6 件予定)
- ② ライオンズクエストを理解するためのセミナーの開催 (2025. 11)
- ③ 薬物乱用防止教室の開催
- ④ 薬物乱用防止教育認定講師養成講座の開催 (2026. 2)



ご挨拶

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
次期 YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員長 今井 章人

2025-2026 年度、YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員長を仰せつかります
2R1Z 水戸西ライオンズクラブ所属 L 今井章人と申します。1年間どうぞ宜しく
お願い致します。

委員会名の頭文字事業の YCE (Youth Camp&Exchange) は、若い世代の交換留学、海外交流を支援する事業でございます。ライオンズクラブとしては、海外交流の派遣活動となるグローバルな活動とはなりますが、各国相互、地元での交流を各地域での皆様のご協力を得ながら、今後、メンバーの皆様はもちろんのこと、それぞれの地域の活性化をさせるべく事業に尽力させていただきます。

LEO (Leadership Experience Opportunity) 事業では、県内では現況 LEO 育成クラブが 1 クラブとなりました。LEO の灯火を消さぬ様複合地区とも連絡を密に取り、新たななるクラブ発足を伺いながら、現 LEO クラブへの全面的支援に向けて邁進して参りたいと存じます。

また当委員会は、青少年育成を目標に掲げております。青少年育成の活動におかれましては、毎年メンバーの皆様方からのご協力を頂きます『平和ポスターコンクール』事業をより盛大に実施したく、皆様方に継続のご協力をお願い申し上げます。そして、委員会名に今年度より『食料支援』を追記させていただきました。各地域の現状、地域児童の声を確認し、子ども食堂への支援について今期は地域への重点活動として活動させていただきます。

次期ガバナースローガン『MISSION1.5 IMPACT!』に基づき、上記事業を若林純也地区ガバナーエレクトの想いに報いるべく、また当委員会の活動が県内ライオンズクラブに発信出来るよう尽力して参りますので、メンバー皆様方の全面なるご支援を承れることを重ね重ねお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 プロトコール (案)

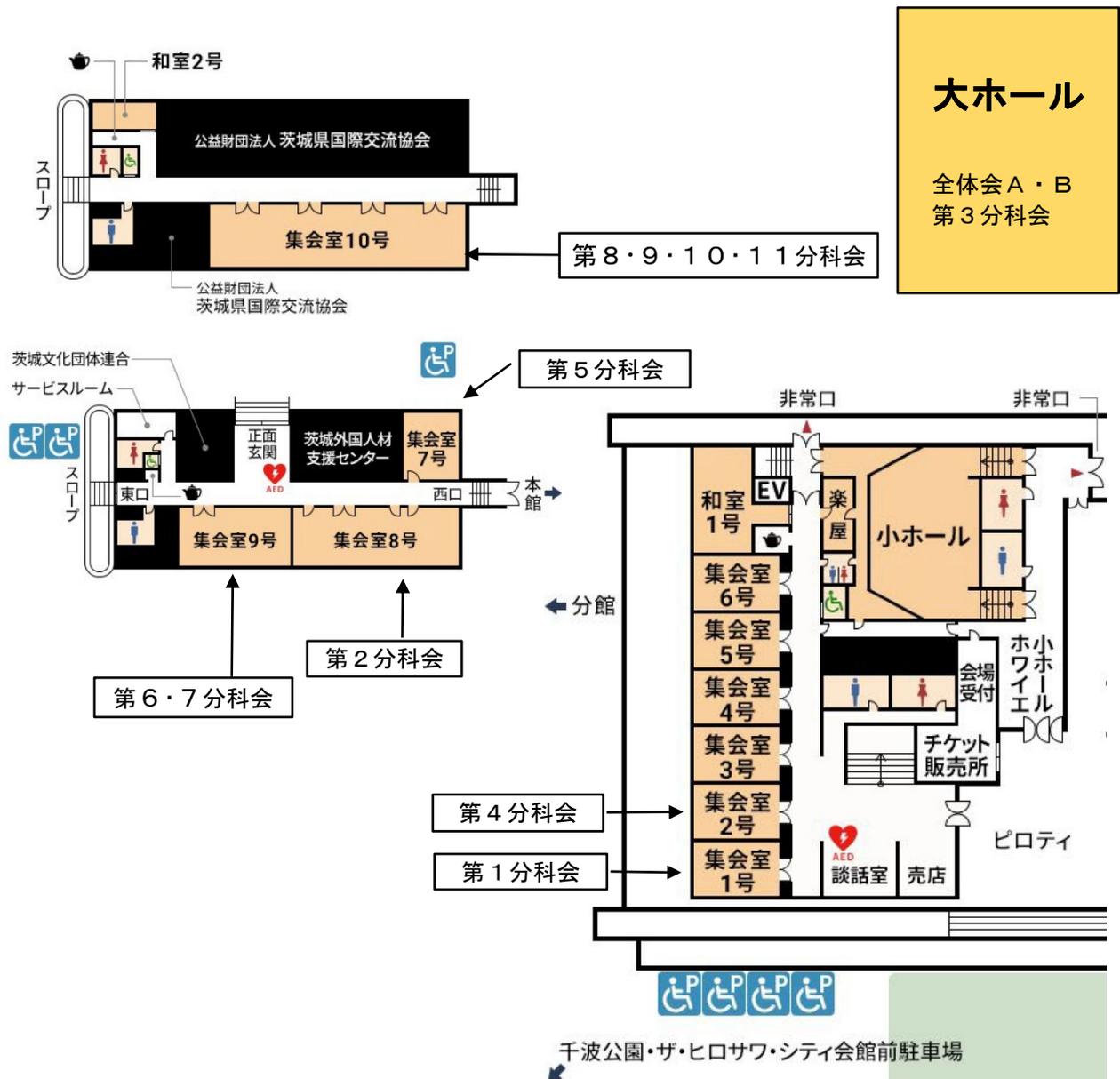
1. 地区ガバナー
2. 元国際理事
3. 前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長
4. 第1副地区ガバナー
5. 第2副地区ガバナー
6. 元地区ガバナー・地区名誉顧問(歴任順)
7. キャビネット幹事
8. キャビネット会計
9. 地区コーディネーター(GLT/GMT/GET/WYPT/GST /LCIF)
10. ゾーン・チェアパーソン
11. キャビネット事務局長
12. 地区委員長 (GLT リーダーシップ育成/GMT・GET/WYPT/LCIF・国際大会/
PR・IT・マーケティング/日本ライオンズ・アラート・環境保全/
ライオンズクエスト・薬物乱用防止/YCE・レオ・青少年育成・食料支援)
13. 地区監査委員
14. 地区副委員長
15. キャビネット副幹事
16. 地区委員
17. クラブ会長
18. 前クラブ会長
19. クラブ第1副会長
20. クラブ第2副会長
21. クラブ幹事
22. クラブ会計
23. 元クラブ会長(歴任順)

※国際会則において規定されている基本のプロトコールについては、あくまでも正式な国際会議の場合に活用されるものであるため、333-E 地区におけるプロトコールについては、上記の通り取り扱う。

2025-2026年度 3役研修会分科会担当者・会場

第1分科会	ゾーン・チェアパーソン	座長	元地区ガバナー・地区名誉顧問	渡辺 博
		補佐	地区ガバナー	椎名 健二
		司会	次期キャビネット事務局長	石井 慎太郎
		記録	次期キャビネット副幹事	大貫 淳司
第2分科会	クラブ会長	座長	地区ガバナーエレクト	若林 純也
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	鈴木 正二
		司会	次期第1副地区ガバナー	鈴木 光成
		記録	次期キャビネット副幹事	和田 義秀
第3分科会	クラブ幹事・会計	座長	次期キャビネット幹事	関川 恵一
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	幡谷 浩史
		司会	キャビネット幹事	大貫 研二
		記録	キャビネット会計	岡田 浩一
第4分科会	GLTリーダーシップ育成委員会	座長	次期地区委員長	大高 勝利
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	根本 昌卓
		司会	次期GLTコーディネーター	結城 健一
		記録	次期地区副委員長	矢口 隆人
第5分科会	GMT・GET委員会（会員増強・リテンション・EXT）	座長	次期地区委員長	富島 純一
		補佐	前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長	齋藤 正行
		司会	GMTコーディネーター	奈良 和彦
		記録	次期GMTコーディネーター	太田 敬
第6分科会	WYPT委員会（献血・視力・糖尿病予防・小児がん）	座長	次期地区副委員長	藤田 匡史
		補佐	次期地区副委員長	塚原 健太
		司会	次期地区副委員長	林 和代
		記録	次期キャビネット副幹事	上田 亜沙美
第7分科会	LCIF・国際大会委員会	座長	次期地区委員長	刑部 ともこ
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	秋原 光義
		司会	SCP・FWTコーディネーター	大関 恵
		記録	次期WYPTコーディネーター	中山 景子
第8分科会	PR・IT・マーケティング委員会	座長	地区委員長	小島 修一
		補佐	次期地区副委員長	亀山 桂枝
		司会	次期地区副委員長	中島 さおり
		記録	次期キャビネット副幹事	木村 浩己
第9分科会	日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会	座長	次期地区委員長	植田 佳男
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	中嶋 正昭
		司会	元地区ガバナー・地区名誉顧問	岡野 良男
		記録	次期LCIFコーディネーター	倉留ラジェシユ
第10分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	座長	次期LCIF副コーディネーター	北島 智希
		補佐	地区委員長	山本 主税
		司会	次期地区副委員長	高倉 美佳
		記録	次期キャビネット副幹事	永井 雄一
第11分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	座長	次期地区委員長	坂入 武史
		補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	下川 利澄
		司会	次期第2副地区ガバナー	鈴木 孝昌
		記録	次期地区副委員長	中崎 直子
第12分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	座長	次期キャビネット副幹事	森澤 吉大
		補佐	次期地区委員長	関 義則
		司会	元国際理事・元地区ガバナー・地区名誉顧問	川島 正行
		記録	元地区ガバナー・地区名誉顧問	山川 洋
第13分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	座長	GSTコーディネーター	吉澤 敦
		補佐	次期地区副委員長	長谷部 雅也
		司会	次期キャビネット副幹事	藤枝 進一
		記録	次期地区委員長	黒澤 清訓
第14分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	座長	元地区ガバナー・地区名誉顧問	大竹 伸一
		補佐	地区委員長	石井 徹
		司会	次期地区副委員長	喜田 和弘
		記録	次期地区副委員長	大川 佳史
第15分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	座長	次期キャビネット副幹事	高岡 裕子
		補佐	次期地区委員長	今井 章人
		司会	元地区ガバナー・地区名誉顧問	小吹 勇
		記録	元地区ガバナー・地区名誉顧問	大高 宣靖
第16分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	座長	次期GSTコーディネーター	渡辺 まり恵
		補佐	地区委員長	武田 清宏
		司会	次期地区副委員長	菅川 次郎
		記録	次期地区副委員長	坂本 哲也
第17分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会	座長	次期キャビネット副幹事	福島 典昭
		補佐	次期キャビネット副幹事	
		司会	次期キャビネット副幹事	
		記録	次期キャビネット副幹事	

会場案内図



会議名	出席者	会場	
全体A	全 員	本館	大ホール
第1分科会	ゾーン・チェアパーソン		集会室1号
第2分科会	クラブ会長	分館	集会室8号
第3分科会	クラブ幹事・会計	本館	大ホール
第4分科会	GLTリーダーシップ育成委員会		集会室2号
第5分科会	GMT・GET委員会(会員増強・リテンション・EXT)	分館	集会室7号
第6分科会	WYPT委員会(献血・視力・糖尿病予防・小児がん)		集会室9号
第7分科会	LCIF・国際大会委員会		集会室10号
第8分科会	PR・IT・マーケティング委員会		
第9分科会	日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会		
第10分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	本館	大ホール
第11分科会	YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会		
全体B	全 員		

第1分科会	ゾーン・チェアパーソン
-------	-------------

会場 集会室1号

座長	元地区ガバナー・地区名誉顧問	渡辺 博
補佐	地区ガバナー	椎名 健二
	次期キャビネット事務局長	石井 慎太郎
司会・記録	次期キャビネット副幹事	大貫 淳司

1. 開 会 L 石井 慎太郎
2. ゾーン・チェアパーソン自己紹介
3. 研 修 L 渡辺 博
 - ・ ゾーン・チェアパーソンの役割について
4. 質疑応答
5. 講 評 L 椎名 健二
6. 閉 会 L 石井 慎太郎

1R1Z L 菊池 清次	3R1Z L 安達 勲	6R1Z L 藤田 行雄
1R2Z L 永井 大貴	4R1Z L 入江 謙吾	6R2Z L 坂入 信佐
1R3Z L 瀧 正秀	4R2Z L 對崎 寛	7R1Z L 小山 久
2R1Z L 村田 豊	5R1Z L 蛭原 誠治	7R2Z L 松本 滝男
2R2Z L 鈴木 邦夫	5R2Z L 小嶋 吉浩	

第2分科会	クラブ会長
-------	-------

会場 集会室8号

座長	地区ガバナーエレクト	若林 純也
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	鈴木 正二
	次期第1副地区ガバナー	鈴木 光成
司会・記録	次期キャビネット副幹事	和田 義秀

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 開 会 | L 和田 義秀 |
| 2. 研 修 | L 若林 純也 |
| ・クラブ会長の役割と職務について | |
| 3. 質疑応答 | |
| 4. 講 評 | L 鈴木 正二 |
| 5. 閉 会 | L 和田 義秀 |

第3分科会	クラブ幹事・会計
-------	----------

会場 大ホール

座長	次期キャビネット幹事	関川 恵一
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	幡谷 浩史
	キャビネット幹事	大貫 研二
	キャビネット会計	岡田 浩一
司会・記録	次期キャビネット会計	大窪 聡史

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 開 会 | L 大窪 聡史 |
| 2. 研 修 | L 関川 恵一 |
| ・クラブ幹事・会計の役割と職務について | |
| 3. 質疑応答 | |
| 4. 講 評 | L 幡谷 浩史 |
| 5. 閉 会 | L 大窪 聡史 |

第4分科会	GLTリーダーシップ育成委員会	
-------	-----------------	--

会場 集会室2号

座長	次期地区委員長	大高 勝利
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	根本 昌卓
	次期GLTコーディネーター	結城 健一
	次期地区副委員長	矢口 隆人
司会・記録	次期キャビネット副幹事	大津 常行

1. 開 会 L 大津 常行

2. 地区委員自己紹介

3. 協議事項

 ・委員長方針 L 大高 勝利

4. 質疑応答

5. 講 評 L 根本 昌卓

6. 閉 会 L 大津 常行

1R L 高木 幹夫	5R L 渡辺 秀一
2R L 星野 克	6R L 江連 秀一
3R L 幡谷 文雄	7R L 長塚 威
4R L 和田 篤	

第5分科会

GMT・GET委員会
(会員増強・リテンション・EXT)

会場 集会室7号

座長	次期地区委員長	富島 純一
補佐	前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長	齊藤 正行
	GMT コーディネーター兼委員長	奈良 和彦
	次期 GMT コーディネーター	太田 敬
	次期 GET コーディネーター	藤田 匡史
	次期地区副委員長	塚原 健太
	次期地区副委員長	林 和代
司会・記録	次期キャビネット副幹事	上田 亜沙美

1. 開 会 L 上田 亜沙美
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
 - ・委員長方針 L 富島 純一
4. 質疑応答
5. 講 評 L 齊藤 正行
6. 閉 会 L 上田 亜沙美

1R L 根本 敬久	5R L 猪瀬 光昭
2R L 若山 実	6R L 生井 正行
3R L 戸田 見良	7R L 藤沼 喜義
4R L 田中 義法	

第6分科会

WYPT 委員会

(献血・視力・糖尿病予防・小児がん)

会場 集会室9号

座長	次期地区委員長	刑部 ともこ
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	萩原 光義
	SCP・FWT コーディネーター	大関 恵
	次期WYPT コーディネーター	中山 景子
	地区委員長	小島 修一
	次期地区副委員長	亀山 桂枝
	次期地区副委員長	中島 さおり
司会・記録	次期キャビネット副幹事	木村 浩己

1. 開 会 L 木村 浩己
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
 - ・委員長方針 L 刑部 ともこ
4. 質疑応答
5. 講 評 L 萩原 光義
6. 閉 会 L 木村 浩己

1R L 埴 宗徳	5R L 小林 秀幸
2R L 鯉淵 仁志	6R L 鶴見 幸弘
3R L 内田 一成	7R L 文随 靖
4R L 小高 正太	

第7分科会 LCIF・国際大会委員会

会場 集会室9号

座長	次期地区委員長	植田 佳男
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	中嶋 正昭
	元地区ガバナー・地区名誉顧問	岡野 良男
	次期 LCIF コーディネーター	倉留ラジェシュ
	次期副 LCIF コーディネーター	北島 智希
	地区委員長	山本 主税
	次期地区副委員長	高倉 美佳
司会・記録	次期キャビネット副幹事	永井 雄一

1. 開 会 L 永井 雄一
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
 - ・委員長方針 L 植田 佳男
4. 質疑応答
5. 講 評 L 中嶋 正昭
L 岡野 良男
6. 閉 会 L 永井 雄一

1R L 加納 芳郎	5R L 塚本 和男
2R L 渡邊 匡	6R L 渡辺 利夫
3R L 長谷川 忠男	7R L 木塚 康裕
4R L 吉原 良典	

第 8 分科会	PR・IT・マーケティング委員会
---------	------------------

会場 集会室 10 号

座長	次期地区委員長	坂入 武史
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	下川 利澄
	次期第 2 副地区ガバナー	鈴木 孝昌
	次期地区副委員長	中崎 直子
司会・記録	次期キャビネット副幹事	森澤 吉大

- | | |
|-------------|---------|
| 1. 開 会 | L 森澤 吉大 |
| 2. 地区委員自己紹介 | |
| 3. 協議事項 | |
| ・委員長方針 | L 坂入 武史 |
| 4. 質疑応答 | |
| 5. 講 評 | L 下川 利澄 |
| 6. 閉 会 | L 森澤 吉大 |

1R L 田中 高司	5R L 池田 裕一
2R L 関根 薫	6R L 村上 宏
3R L 松本 栄司	7R L 関井 利徳
4R L 近藤 正登	

第9分科会

日本ライオンズ・アラート・環境保全委員会

会場 集会室 10号

座長	次期地区委員長	関 義則
補佐	元国際知事・元地区ガバナー・地区名誉顧問	川島 正行
	元地区ガバナー・地区名誉顧問	山川 洋
	GST コーディネーター	吉澤 敦
	次期地区副委員長	長谷部 雅也
司会・記録	次期キャビネット副幹事	藤枝 進一

1. 開 会 L 藤枝 進一
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
 - ・委員長方針 L 関 義則
4. 質疑応答
5. 講 評 L 川島 正行
L 山川 洋
6. 閉 会 L 藤枝 進一

1R L 平野 啓太郎	5R L 荒槇 純勝
2R L 飯田 信雄	6R L 岩渕 久之
3R L 玉木 正雄	7R L 安喰 友之
4R L 浅野 修	

第 10 分科会	ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
----------	---------------------

会場 集会室 10 号

座長	次期地区委員長	黒澤 清訓
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	大竹 伸一
	地区委員長	石井 徹
	次期地区副委員長	喜田 和弘
	次期地区副委員長	大川 佳史
司会・記録	次期キャビネット副幹事	高岡 裕子

1. 開 会 L 高岡 裕子
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
 - ・委員長方針 L 黒澤 清訓
4. 質疑応答
5. 講 評 L 大竹 伸一
6. 閉 会 L 高岡 裕子

1R L 吉村 文雄	5R L 櫻井 隆
2R L 立野 壯一	6R L 小竹 薫
3R L 檜山 太一	7R L 中村 和義
4R L 石毛 正昭	

第 11 分科会

YCE・レオ・青少年育成・食料支援委員会

会場 集会室 10 号

座長	次期地区委員長	今井 章人
補佐	元地区ガバナー・地区名誉顧問	小吹 勇
	元地区ガバナー・地区名誉顧問	大高 宣靖
	次期 GST コーディネーター	渡辺 まり恵
	地区委員長	武田 清宏
	次期地区副委員長	皆川 次郎
	次期地区副委員長	坂本 哲也
司会・記録	次期キャビネット副幹事	福島 典昭

1. 開 会 L 福島 典昭
2. 地区委員自己紹介
3. 協議事項
・委員長方針 L 今井 章人
4. 質疑応答
5. 講 評 L 小吹 勇
L 大高 宣靖
6. 閉 会 L 福島 典昭

1R L 堀川 智也	5R L 清原 秀樹
2R L 給前 正敏	6R L 堀 義己
3R L 友常 千秋	7R L 増田 敏浩
4R L 霜越 安文	

ゾーン・チェアパーソンの役割

ゾーンチェアパーソンはゾーンにおいて国際会長、ガバナーであり、国際協会の方針をゾーン内クラブへ指導するとともに、ゾーン内クラブの質の向上と活性を図り、クラブがその会員と地域社会双方のニーズを満たし国際協会の会則と方針の範囲内で活動し、地区キャビネットが提供する方針や支援によって向上と継続的な発展を目指すようにすること。これらの目的を達成するためこの役職を務める皆さんは、地区 GLT、GMT、GET、WYPT、GST 及び LCIF を含む地区のリーダーシップ・チームの一員であり、ゾーン内クラブと地区キャビネットを結び付ける重要な役割を果たすこととなり、地区ガバナーの指導監督のもとにクラブの意欲を高め活性し、助言を提供し情報を伝え地区のプログラムや活動を奨励する。また、クラブの活動に関する情報を常に地区のリーダーシップ・チームに伝えると共にクラブの抱える懸念や課題を共有する。

333-E 地区レベルの GLT/GMT/GET/WYPT/GST/LCIF チームと一体

各チームは地区ガバナー・チーム及びゾーン・チェアパーソンより構成される。

■地区 GLT のメンバーとして、ゾーン・チェアパーソンは主に以下に協力する。

- ・クラブを特定してクラブ CQI（クラブ活性化計画）への参加を推奨する。
- ・研修や指導力育成の機会を利用できること伝達し、参加する。
- ・地区 GLT と協力し、効果的なクラブ役員研修が確実に行えるようにする。
- ・新入会員オリエンテーションを企画し、勉強会を促進する。
- ・研修・育成ニーズについて地区 GLT の他のメンバーに伝達する。
- ・クラブレベルのリーダー候補（次期キャビネット構成員など）を特定する。
- ・新たなリーダーに指導的責任を担うよう奨励する。
- ・ライオンポータルにあるゾーン・チェアパーソン研修を完了させ、クラブ役員へはクラブ活性プログラム、会員オリエンテーション、クラブ役員研修を行うようクラブへ指導する。

■地区 GMT・GET のメンバーとして、ゾーン・チェアパーソンは地区のリーダーと緊密に協力して行う。

- ・会員増強手法 GMA を活用し会員増強はもちろん、クラブ満足度をあげて退会防止リテンション活動にも協力する。
- ・クラブ会員増強に関する資料を随時、地区 GMT コーディネーターへ提供する。
- ・クラブ会員増強委員長がその役割と責任を確実に認識できるようにする。
- ・会員増強計画を実行し、地域社会での活動を宣伝するようにクラブに奨励する。
- ・会員増強ニーズと有効な戦略について地区 GMT の他のメンバーに伝達する。
- ・新クラブ（SCP・支部）を結成できそうな地域社会を特定する。
- ・会員増強およびクラブ活性化、地域にライオニズムを拡げる観点から、新クラブ、SCP、支部の結成をクラブ会長と協議模索し尽力する。

■地区 WYPT との協力体制をとり支援する。

- ・クラブの女性会員在籍比率と女性役員登用率を 30%にする。
- ・家族会員等、会員種別を活用しクラブの充実を図る。(会員増強)
- ・若手会員の増強を図る。(会員増強)
- ・女性・若手会員へのアクティビティを企画し参加するように奨励する。
- ・支部結成、スペシャルティクラブの発掘に協力する。
- ・地区 WYPT と協力し効果的な研修が行えるように伝達する。

■地区 GST との協力体制をとり支援する。

- ・ライオンズが地域社会において真に必要とされる奉仕活動を行えるようゾーン内クラブに能力強化の資源を提供する。
- ・影響力ある奉仕を増加させることを通じてライオンズクラブの認知度を向上し会員の満足度を高める。
- ・クラブ GLT 委員長と協力し新規又は既存の奉仕事業に会員を積極的に参加させることに重点を置く。
- ・クラブ会長、GLT 委員長と協議し既存の奉仕事業はマンネリ化していないか、実施に携わる会員が感動し地域に真に必要とされる奉仕事業か検討を行う。(継続の可否、事業のブラッシュアップ)
- ・LCIF の情報資源活用や資金獲得事業等への取り組みを最大限に行う。

■地区アラート・環境保全委員会と協力体制をとり支援する。

- ・ゾーン内に災害・有事が起きた場合、ゾーン・チェアパーソンはクラブ直属のキャビネット役員として災害支援活動において一番のキーマンとなり、地区緊急災害対策本部長（地区ガバナー）と地区アラート委員長と協力し発災地クラブと情報交換のうえ支援の可否、支援内容の判断を行う。
- ・ゾーン内に災害・有事が発生し支援活動を行う場合、ゾーン・チェアパーソンは地区災害規定に沿った地区緊急災害対策本部長（地区ガバナー）と地区アラート委員長と連携しクラブとの調整・連携を行いキャビネットとして有効な支援活動を行う。
- ・ゾーン以外や他地区での災害については、地区緊急災害支援センター（地区緊急災害対策本部）からの指示に基づき各クラブへ支援要請や情報（活動）を管理する。
- ・災害支援は、各クラブ「単位支援」と「地区支援」とがあります。地区一丸となることで大きな支援が得られるので、クラブの協力を奨励する。
- ・地区ガバナー輩出ゾーン・チェアパーソンは地区災害援助資金メンバーとなる。
- ・いつ起こるか分からない有事に日頃から備えライオンズとしての意識を高めるため、地区が開催するアラートフォーラムなど研修会にクラブに出席を奨励する。
- ・地球規模の温暖化等に起因する豪雨、洪水災害等、災害と環境保全は密接な関係にあるため、クラブ単位で環境保全活動を行うようクラブの指導にあたる。

2. 情報の共有

キャビネットから発信される各種行事や研修の機会について、事前に知らせ参加しやすく配慮する。そのために情報伝達を下記のように伝達する。

- ・地区ガバナー諮問委員会会議に行事予定表を配り参加を促す。
- ・クラブ役員に確認の連絡をとる。クラブの質問や懸念に迅速かつ効果的に対応することは、クラブとの良好なコミュニケーションを保つことが重要であり、意欲、喚起と助言の提供によってクラブの懸念に対処する。
- ・クラブとの連絡、コミュニケーションは昨今の時代背景を鑑み、電話や FAX のほかラインや SNS、zoom などを活用する。情報伝達・共有は迅速であることが重要であるため原則的には E メールや SNS を活用する。

3. 地区ガバナー諮問委員会

諮問委員会会議は、ゾーン・チェアパーソンがゾーン内クラブへ国際協会会長（ガバナー）に成り代わり国際協会の方針を伝えクラブを指導し、ゾーン内クラブの結束を促す機会となりクラブにとってクラブの運営や管理、事業、活動、資金獲得やさまざまな研修会などに関する意見交換の場となる。

■主な役割

- ・ゾーン・チェアパーソン及びゾーン内クラブ会長、第 1 副会長、クラブ幹事は地区ガバナー諮問委員会を構成し、ゾーン・チェアパーソンがその委員長を務める。
- ・委員会はゾーン・チェアパーソンに助言を提供し、クラブに影響する事項について助言する。その提言を地区ガバナーと地区キャビネットに伝える。
- ・委員会は年 4 回会議を行い、4 回目は次期ゾーン役員との引き継ぎも兼ね行う事。
- ・諮問委員会の会議は所定の書式で、キャビネット事務局経由、地区ガバナーに報告する。

■諮問委員会議を企画する

- ・大半のクラブが代表を出せる時間に会議を設定
- ・十分に前もって会議を通知、会議予定計画は第一回諮問委員会に示し、開催日 25 日から 30 日前に通知する。
- ・キャビネット会議での決定・報告事項を正確に各クラブへ伝達する。
- ・会議ごとに議事日程（議案）を作成し、進行（司会）および書記（議事録作成人）を依頼する。
- ・出席者全員に名札を用意する。
- ・出席者に意見やアイディアの提供を奨励
- ・全クラブ会長に議事録を送り、各クラブの会員に情報を伝えるよう奨励

■ゾーン内のコミュニケーション、絆を深めるための企画の奨励

- ・ゾーン合同例会の開催
- ・ゾーン合同アクティビティの奨励
- ・ゾーン交流会の開催

■国際会長及び地区ガバナーの方針を理解し、またキャビネット会議などで新しい情報を得て諮問委員会を開催する事が望ましいことから、333-E 地区ではキャビネット会議終了後 2 週間以内に、諮問委員会を開催する。

■ 諮問委員会開催後、速やかに地区ガバナー諮問委員会会議報告書を地区ガバナーに報告する必要がある。

4. クラブ例会訪問

ゾーン内クラブを年度内に最低2回以上、リジョン内地区委員8名と随行訪問し、各クラブの具体的なニーズを見極めをする。会員の懸念に注意深く耳を傾け、建設的な助言を提供する。気付いたことや与えた助言を記録し、各クラブの事業・運営の進歩を評価する。

健全なクラブと弱体化しているクラブでは、特徴や行動が大きく異なっています。健全なクラブは以下のようなクラブと言える。

- ・よくまとまっている。
- ・定期的に会合を開いている。
- ・会員は熱心でクラブに誇りを持っている。
- ・会員が継続的に増えている。
- ・会員を彼らにとって有意義な活動に参加させている。
- ・地域社会のニーズを満たす数々の奉仕事業を主催している。
- ・資金獲得事業を成功させている。
- ・地域社会で強力なPRプログラムを継続している。
- ・リーダーになることに意欲を持つ会員を参加させ、励ましている。
- ・会費を遅滞なく支払い、ほとんど滞納しない。
- ・月例会員報告を期日に行っている。

訪問の際には、会員増強とリーダーの育成に利用できる資料をクラブに紹介し、クラブの成果を称賛してください。また意欲を喚起し、助言を提供し、情報を伝達することも心がけてください。

■ ゾーン・チェアパーソンは以下によって意欲を喚起

- ・クラブが成功させている地域社会奉仕事業とPR行事を称賛
- ・クラブ会員のチーム精神と結束を奨励
- ・他のクラブ会員を尊重し協力することの重要性を説明
- ・会員に地区の行事、会議、研修への参加を奨励
- ・会員にリーダーとしての責任を引き受けるよう奨励

■ ゾーン・チェアパーソンは以下によって助言を提供

- ・クラブに方針と支援を提供
- ・クラブに国際協会と地域社会から入手できる資料を紹介
- ・クラブの懸念に配慮
- ・クラブ内の誤解や問題の可能な解決策を提案
- ・ステータスクオ・クラブや滞納金を理由とする活動停止クラブに指針を提供
- ・困難を抱えているクラブに方針を提示
- ・成功している強力なクラブには目標を高めるよう奨励

■ゾーン・チェアパーソンは以下によって情報を伝達

- ・クラブに地区および複合地区の行事や研修の機会を通知
- ・クラブが地区行事に参加できる方法を提案
- ・クラブの活動を地区役員に報告
- ・ライオンズクラブ国際協会の目的を推進

5. 苦境にあるクラブを支援

ゾーン・チェアパーソンは地区 GLT/GMT/WYPT/GST/LCIF チームと協力し、ゾーン内クラブの全体的な健康状態を監視することができる。クラブがステータスクオ処分を受けないよう、援助を頼まれることもあるでしょう。また、地区ガバナーがステータスクオ処分を勧告しているクラブについて、その行動に関する見解を求められるかもしれません。さらに、ステータスクオ処分を受けているクラブが復帰してグッド・スタンディングに戻れるよう、直接支援を提供することにもなるでしょう。苦境にあるクラブは、ステータスクオ、優先指定、非常時ステータス、滞納金を理由とする活動停止の4つのカテゴリーに分類されるが、これらのステータスはクラブ健康診断レポートにも記載されるので苦境にあるクラブは早めに支援サポートを心掛けることが大事となる。

6. クラブの形（規模等）について

クラブは地域に必要とされ良い奉仕を行い、会員が喜びを感じスキルアップにつながり生涯の友ができるのがライオンズクラブの素晴らしさであります。十分な奉仕活動を行うためにも一定規模の会員数が必要となります。どの程度の人数が適正かと言えば正解は無いかもしれませんが、クラブ認証をうけるための基準の20人を最小とし、40人から50人のクラブが理想とされています。100人200人の大規模なクラブとなると出会いの機会は多くなったり予算上のメリットはありますが、会員に発言の機会がなくなったり役員になることが出来ずライオンズにおける研修機能が失われる等デメリットもあるため大規模であるほど良いというわけではありません。

したがって地域性によって自身のクラブの人数は何人程度が理想か、自治体の規模等も勘案し自クラブの規模の目標（設定）を立て、そこを目指し維持していただけたらと思います。

また、ひとつの自治体に複数クラブが存在し、人数が多いクラブと少ないクラブが混在している場合今後のクラブ（地域）の発展を考慮しクラブ合併の検討もお願いいたします。歴史あるクラブを変更（解散）することは非常に大きな勇気と決断を要しますが、会員とライオンズクラブ、地域の発展と未来を考察し熟考をお願いいたします。

昨今クラブが合併を行い活気を取り戻しているライオンズクラブも多数あります。日本各地のライオンズクラブの変化にともないリジョン・ゾーンの再編をゾーン・チェアパーソンを中心とした「リジョン・ゾーン再編検討諮問会議」によって2025-2026年度は推進してまいります。ゾーン・チェアパーソンのリーダーシップにより新たな時代のライオンズを創造してまいります。よろしくお願いたします。

7. ゾーン・チェアパーソン擁立（方法）について

前地区ガバナー、第1、第2副地区ガバナーを除き、ゾーン・チェアパーソン含むキャビネット役員（構成員）はガバナーにより任命されます。ゾーンを司るリーダーシップを持つゾーンの優秀な人物をすべてのゾーンにおいてガバナーが認知しているわけではないため、ゾーン・チェアパーソンはゾーン内クラブによって推薦され地区ガバナーに任命される流れとなっております。この推薦方法について輪番制という手法を用いられているゾーンも多いかと思いますが、輪番を基軸とする推挙方法は今後検討いただきたくよろしくお願いたします。

ゾーン・チェアパーソンは任期中に地区ガバナーになる権利を持つポジションとなります。ゾーンより推薦いただく候補者の理想要素として

1. ゾーン・チェアパーソンの任期中また任期後、第2副地区ガバナーに立候補する可能性がある。
2. 国際協会役員として国際大会、OSEAL フォーラムに参加する。
3. 国際協会役員として LCIF（MJF）に参加する。
4. ゾーン内クラブに対し指導力を発揮できること。

以上の理想要素を基軸としたうえクラブ輪番を用いクラブより選出されたり、輪番に関係なくゾーンから最適な人選をいただきますよう柔軟な対応をよろしくお願いたします。

8. ガバナー公式訪問

i) 地区ガバナーとクラブ3役懇談会（15:20～16:20）※暫定

※上記時間は5クラブ程度の時間での設定となりますため、ゾーンのクラブ数によって時間検討が必要です。詳しくはキャビネット3役と協議のうえタイムスケジュールの決定をお願いします。

■懇談会＝参加者：ガバナーチーム・ZC・クラブ会長/幹事/会計

司会進行＝結成クラブ1番目会長

開会のことば＝結成クラブ2番目会長

クラブ会長自己紹介＝結成順

ガバナーチーム自己紹介

地区ガバナー挨拶

各クラブ現況報告及び質疑応答（事前に提出願います）

閉会のことば＝結成クラブ3番目会長

※地区ガバナー・キャビネットへの質問については事前にご提出ください。

ii) ガバナー公式訪問合同例会（16:30～17:50）

開会宣言

開会ゴング

国旗敬礼並びに国歌斉唱

物故ライオンに黙祷

ライオンズヒム斉唱

地区ガバナー並びに地区役員の紹介

出席クラブ紹介
地区ガバナー歓迎の言葉
地区ガバナー挨拶
各コーディネーター・各委員長挨拶
キャビネット幹事報告
合同入会式
ライオンズローア
閉会宣言
閉会ゴング

※ガバナー公式訪問合同例会時の質問等をご遠慮ください。

iii) その他連絡事項

- a) 上記 i・ii の式次第は全てのゾーンにて統一開催願います。
開催日はキャビネット指定日で、開催場所は各ゾーン・チェアパーソンにて手配願います。
- b) ガバナーがタキシードを着替えるための場所、控室のご用意をお願いいたします。
- c) 3役懇談会を 15:20～（暫定）から開催しますので、会場準備を願います。
- d) 合同例会時、国歌斉唱、ライオンズヒムに使用する音源（CD 等）・再生機器（CD プレーヤー等）をご準備願います。（準備が困難な場合に関しましては、キャビネットにご相談ください）
- e) 合同入会式を行う場合、入会式の進行等はゾーン・チェアパーソンに一任致します。なお、事前に新入会員数をキャビネット事務局へご連絡ください。（当日、地区ガバナーよりラペルピンの贈呈がございます。）
- f) 懇親会の開催有無に関しては各ゾーン・チェアパーソンの判断に一任します。
- g) コーディネーター、地区委員長が一部随行します。随行者一覧を確認下さい。
- h) 「ガバナー公式訪問」の主催者はゾーン・チェアパーソンになり、ガバナー含むキャビネット随行者は主催者ではありませんので、ご注意ください。

2025-2026

若林 純也 地区ガバナー公式訪問使用書面

各クラブ運営状況回答書
地区ガバナー・キャビネットへの質問事項・改善要望

●R●Z | クラブ名●LC | 役職● | 氏名 L●

1. 貴クラブの年齢別構成を教えてください 2025年7月1日現在

年齢	会員数（正会員のみ）	クラブ内割合（正会員のみ）
39歳未満		
40歳台		
50歳台		
60歳台		
70歳以上		
合計		

2. 貴クラブの状況をお聞かせ下さい。

年会費（正会員）	クラブ例会は昼か夜	例会で食事提供の有無

3. 貴クラブで抱えている問題点がありますか

4. 退会するメンバーの退会理由は何でしょう

5. 他クラブに無い、貴クラブで1番自慢できるアクティビティを教えてください。（複数可）

6. 地区ガバナーもしくはキャビネットへの質問・改善要望があれば記入ください。

■クラブ会長・・・7月31日までにZCを經由しキャビネット事務局までご提出願います。

地区委員長・地区委員の役職について

それぞれの担当、所轄事項についてテーマ、目的をかね、ゾーン・チェアパーソンと協力して各クラブに対し推進あるいは指導伝達する役職です。

地区委員会、事務手続き等の確認

各委員会は地区ガバナーの指揮のもとに活動しなければならないと複合地区会則に記されており、その活動等はガバナー方針達成のために、各委員会にて協議し、各クラブに対して具体的な活動内容を伝える事により地区内の全クラブが統一された活動を行うことを目指すものです。

キャビネット幹事は、地区ガバナーの指揮のもとに、キャビネット運営事務をつかさどる。よって下記のような手続きを得てください。

■ 委員会・研修会の開催

開催日時・場所・目的などを「委員会企画・計画書」に記入の上、地区ガバナーの許可を得て行ってください。許可承認後、開催通知の案内文を作成し、キャビネット事務局へ提出してください。各クラブへの開催通知案内文書は、「地区ガバナー及び地区委員長名義」での発信となります。

「委員会企画・計画書」に無い支出は、キャビネットからの出金はありません。

委員会開催後は3日以内に、出席名簿をキャビネット事務局へ提出してください。

■ 各委員会から、各クラブ会長へ連絡事項がある場合

上記同様に、その内容を添えて地区ガバナーの許可を得て行ってください。地区ガバナーと地区委員長の連名での発信となります。

■ 公の場での会議内でライオンズクラブ関係資料を配布する場合

上記同様に事前に地区ガバナーの許可を得てください。

注意：以上のことから、委員会開催等は地区ガバナーの許可無く行わない。

各クラブへのご案内や通知は委員会独自で行わない。

会議での配布資料は地区ガバナーの許可なく配布しない、また事前に許可を得るようにお願いいたします。

クラブ3役の職務

単一クラブの充実発展はクラブ3役が握っていると言われていています。それだけ重い責任を背負っている事になりますが、過去の例が示しているようにクラブ3役が共に心を合わせ連携を密にクラブ運営に当たれば、良い結果が得られることも判っています。1年限りの貴重な機会ですから、悔を残さぬよう力を尽して下さい。

しかし、ライオンズクラブの総てを知らなくては本当の良きリーダーとはなれません。本年度のクラブ3役として正しい方向にクラブをリードする為にもそれぞれの職務を把握してください。ライオンズ必携、役員必携を熟読され、ライオンズについて十分な知識を持たれるようお願いいたします。

会長の職務

1. 本年度のあなたのクラブは、会長としてのあなたのリード如何によります。

イ. 会長はそのクラブの最高執行者であり、あらゆる会合を主催し、理事会の議長をつとめます。

2. クラブ例会／催し

イ. クラブは毎月少なくとも1回会議、催し、もしくは奉仕活動を行うことが奨励されます（クラブの例会は、クラブの会員が決定した奉仕事業またはその他の催しに置き換えることができる）。例会は楽しい雰囲気で行なわれるよう、又できるだけ多くの会員に発言を求めるよう配慮し「あなたのクラブはあなたのやり方で」活気あるクラブづくりに励んでください。

ロ. そのほか毎年チャーター記念例会を開催することができ、その際には、ライオニズムの目的、道徳綱領、およびクラブの歴史を認識してください。

ハ. ライオンズの毎会計年度終了と併せてクラブの年次会議を開催し、役員は任期中の最終報告を行い、新しい役員に引継ぎます。

ニ. クラブの運営や例会が古いスタイルでマンネリになっていないか。クラブ会員の満足度を高めるためマンネリは危険です。クラブを常に見渡しテールツイスターと連携しアイデアを駆使し、新鮮で斬新なクラブづくりに努めてください。

ホ. 既存の事業は会員にとって満足を得られるものであるか、奉仕の受益者である市民、地域にとって本当に求められている事業であるか、事業継続の検討やブラッシュアップをお願いします。奉仕事業がマンネリ化していないか、事業を立ち上げた時代と社会情勢が変わり事業が時代にマッチしたものであるか、当初の目的は現代でもマッチしているか等、奉仕の検証をお願いします。

3. 理事会

イ. 理事会はクラブの執行機関です。執行機関とは「団体の意志を実際に行う機関」という意味で、例会によって承認された計画、施策を各担当役員および会員を通じて実施する責任をおいます。

ロ. 理事会は毎月少なくとも1回会合することが推奨され、クラブ予算を支出するものは理事会の承認を得なければなりません。

ハ. 理事会はすべての新企画や新施策をそれぞれに委員会に付託しその検討と答申を求めます。

ニ. 委員会の答申に基づき、理事会で十分に検討して承認ののち、これを具現化し例会の席で個々の会員に説明して意見を求め、承認を得なければなりません。

4. 委員会の任命

- イ. クラブの常設および特別委員を任命し、委員会が適切に活動し、報告が適切になされるよう各委員会に協力する。

5. 副会長の担当

- イ. 副会長に各委員会の担当を委嘱します。
 - (例) 第1副会長 運営に関係する委員会を担当
 - 第2副会長 事業に関係する各委員会を担当
- ロ. 第1副会長はガバナー諮問委員会へ参加

6. 準備理事会、準備委員会の開催

- イ. 正式就任前に準備理事会、準備委員会を開催し、十分な準備をします。
- ロ. 前年度の引継事項、新年度の運営方針、事業計画、努力目標、予算案などを早めに検討します。
- ハ. 年度開始時から直ちに活動できるよう、十分な準備を整えます。

7. クラブ財政

- イ. クラブ財政は予算制をとります。

8. クラブの運営

- イ. 会員は役員になるか、委員会に所属するか、何らかの役職につきま。つまり全員が小集団活動を通じてクラブ運営に参加することになります。これこそがライオンズクラブの特性であり、クラブの活性化につながります。

9. 出席率向上について

- イ. 出席率はクラブ運営を円る一つのバロメーターと言えます。全員が使命感と盛んな参加意欲をもって出席するよう努力され出席率の向上に努めてください。又、特定会員の欠席が重なることは、やがては他の会員にも影響を与え退会の温床となりますのでご留意ください。
- ロ. 他クラブへのメイクアップを奨励します。見聞を広める良い機会となります。
- ハ. 例会に出席低迷しているメンバーへ、スポンサーメンバーより参加推奨

10. EXT及び支部設置

- イ. EXTはクラブ最大のアクティビティです。新クラブの結成、クラブ支部の設置、レオの結成にも尽力をお願いします。
- ロ. スペシャルティクラブ、クラブ支部結成をご活用ください。

11. 奉仕活動とアクティビティ資金について

- イ. ライオンズクラブは、地域に密着した地域ぐるみの奉仕事業を行います。その資金は年1回以上アクティビティ資金獲得の為の事業を行ない、その収益でまかなわれるのが望ましいあり方です。その他、企業協賛を募るなどこれまでにない手法を模索していくことでクラブ運営（予算）に関し新しい可能性が生まれます。

12. 地区ガバナー諮問委員会の委員

- イ. 年度内に4回開催される諮問委員会には、**クラブ会長、第1副会長、幹事**が揃って出席してください（2023-2024年度ライオンズクラブ役員必携61頁掲載）。各クラブの状況、諸問題の討議、クラブ運営に関する意見の交換、クラブ相互の協力等を話し合い併せて親交を深める大事な会合です。※クラブ会計の参加有無は各ゾーン・チェアパーソンの判断

13. 行事への参加、主催について

- イ. チャーターナイト、周年行事、年次大会等の出席にあたり、出席者がライオンズメンバーとしてのモラルに欠けることのないよう、又、その向上に特段のご指導をお願いします。
- ロ. クラブが周年行事等を開催する際には、ブラザークラブの会長席を設けて敬意を表します。

14. 会員増強

- イ. 会員増強はクラブ運営の基本的な問題です。会員一人ひとりが一人の会員を真剣に増員するよう指導しましょう。
- ロ. 女性、若手会員の入会を奨めてください。これからのクラブ発展に欠かせない要件となります。
- ハ. SCP、支部は新たな概念で独自にライオンズ活動をすることができます。SCP、支部結成（運用）を是非ご検討ください。

2025-2026 年度 クラブ会長へお願い

1. 奉仕事業、Lion Portal による奉仕報告の徹底をお願いいたします。
2. LCIF への参加をお願いいたします。寄付することも立派な奉仕活動であるとともに、交付金運用もご活用ください。
3. 会員増強を（MISSION 1.5）
 - ①期末1名以上の純増を
 - ②例会未参加者へスポンサーライオン、会員からの声掛けを
 - ③スペシャルティクラブ5名からの支部発足を
 - ④女性会員、若手会員の獲得を
4. 本当に必要とされているアクティビティなのか再検証を（会員満足度向上）
 - ①昔からやっているから・・・昨年もやっているから・・・
 - ②受益者が本当に求めている、必要とされているのか・・・
 - ③地域に根ざした新しいアクティビティの発掘を！
5. 合同例会・合同アクティビティの活用を、またクラブ会長および会員が他クラブ例会訪問を！

※ 会員増強と会員満足の両輪が退会防止です。

6. ガバナー公式訪問について

①日程確認

②3 役懇談会を「会長・幹事・会計」一緒に開催

③「各クラブ運営状況回答書／地区ガバナー・キャビネットへの質問事項・改善要望」の提出を

7. 広報・交流推進活動へのご協力をお願いいたします

幹事の職務について＝333-E 地区仕様

クラブ幹事は理事会の一員であり、会長及び理事会の指揮のもとにクラブ運営全般にわたって執行機関の中核となる役職です。ライオンズクラブの事務的な総括の責任者でもあります。

幹事の主な職務は、以下のとおりです。

- (1) 例会、理事会その他のクラブ内会議の招集、運営、議事記録の作成、保管
- (2) アクティビティ、行事、出席率、会員動静等の記録
 - (a) アクティビティ報告 (LCIF 寄付以外) → Lion Portal
 - (b) 会員動静 → Lion Portal
 - (c) LCIF 寄付報告 → サバンナ (『eMMR Servanna』)
 - (d) 例会・行事の出席率 → 各クラブにて記録・保管
- (3) 会員名簿、経歴、表彰などの全般的な記録の整備、保管
 - (a) 会員名簿は、Lion Portal に登録する内容をクラブ独自の名簿にも網羅すると良い
 - (b) 国際協会からキャビネット事務局を通しクラブ事務局へ送付されるアワード
 - (例) ◆会員キー賞・・・ライオンズがスポンサーした新会員のクラブ在籍1年と1日経過後、自動的に授与される。
 - ◆シェブロンアワード・・・10, 15, 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60 年を迎えられた会員に贈られるアワード
- (4) 各賞受賞申請書の提出
各賞受賞申請書の対象となる会員やクラブのための申請書を提出
 - (例) クラブ優秀賞、年次大会アワード
- (5) 会費の請求、受領すべき金額の徴収・記録等
会員に対し会費の請求、その他クラブの受領すべき金額を徴収し会計に渡す
クラブ会計簿、その他の収支明細書を保管する
- (6) クラブ用品の管理
クラブの効果的運営のために必要な事務用品、ゴング、小槌、国旗、クラブ旗などの管理
購入先：OSEAL 調整事務局 (Lion Portal の shop) やフジマキネクタイ等、公認指定供給業者
- (7) 地区キャビネット、複合地区ガバナー協議会事務局、国際協会本部との連絡にあたり、定められた定期報告書、そのほか要求された報告書や回答書を提出する

【キャビネット事務局への提出物】

- (a) 新入会員キット申込書 → 入会式の最低 1 週間前までに申込
- (b) 会員動静における報告書 → Lion Portal にて会員動静を行った際、サバンナに反映されない情報について変更(登録)依頼
- (c) 再入会・転籍会員報告書 → Lion Portal にて再入会・転籍会員の入会登録をおこなった際サバンナに反映されない情報について変更(登録)依頼
- (d) 訃報 → 正会員・支部会員の訃報は、ZC を通しキャビネット事務局へ提出。
その後、Lion Portal にて退会処理を月内に行う。
クラブ内メンバーへ訃報配信する際は、会長名でなく「幹事名」で発信する。
- (e) 献血報告書 → 茨城県赤十字血液センターからの報告書をキャビネット事務局へ提出
- (f) 薬物乱用防止・ライオンズクエスト活動報告 → 月末までにキャビネット事務局へ提出
- (g) LCIF 寄付報告書 → OSEAL 調整事務局へ提出時、キャビネット事務局へも提出
寄付をした月の 20 日～月末の期間に、サバンナで報告

※上記書式（e を除く）は、キャビネットの HP 「資料ダウンロード」に掲載しております。

※オンライン（クレジット決済）で寄付をしたメンバーは「LCIF 寄付報告書」ではなく、メールで届いた「確認書」をクラブ幹事とキャビネット事務局へ提出してください。

クラブ理事会

理事会はクラブの執行機関です。これはクラブの意思を実際に執行する機関であるという意味です。構成員は、クラブ役員、ライオン・テーマ（任意）、テール・ツイスター（任意）、支部会長、並びに選出されたその他の全理事及び/又は委員長とされています。クラブ理事は任期 2 年で半数ずつ毎年改選されることから、クラブ理事は 1 年目の理事を 1 年理事、2 年目の理事を 2 年理事と呼称しています。理事会のいかなる会合においても、構成員の過半数の出席をもって定足数とし、特に規定する場合を除き、出席構成員の過半数による決定をもって理事会全体の決議とします。

例会

クラブは定期的会議を開き、クラブの会員は出席する義務があります。会員全員がきちんと出席することで、親睦が強まるだけでなく、共通の目標が定まり、その達成が確実なものとなります。新入会ライオンは、毎回出席し、多くのライオンズの知識と精神を吸収することが特に重要です。

出席を厳しくすると退会者が出るという説もありますが、厳正な出席が定着すればクラブの運営が容易になり活性化につながります。

- 【参考】 18:30 開会・ゴング
国旗敬礼
国歌斉唱
18:40 紹介・あいさつ(会長、ゲスト)
18:50 報告事項・審議事項ならびに協議事項
19:00 メンバー・ゲストスピーチ (任意)
19:20 テール・ツイスターの時間
19:30 閉会ソング (また会う日まで)
閉会・ゴング

★食事が無い例会は上記の通り、1時間で運営することが望ましい。

地域によっては昼の例会(12:00～)でも同様なスケジュールで行うことができる。

クラブ幹事が運営責任者として会合の時間は厳守すること。特に遅延は注意を払う。

これは一例ですが、クラブによって伝統や個性がありますので、自分のクラブの実情に適した方法を取り、クラブの個性が失われないよう留意する必要があります。特に規則正しい時間の中で、適宜食事を取りながら、楽しさが失われないようにし、またライオニズムの高揚と会員の知的向上に役立つ例会にするよう工夫することが大切です。

例会シナリオの担当はクラブ幹事ですから、会長の意を汲んで、まずクラブ執行部で年間行事予定を立案しておくべきでしょう。毎回のものは、会長、幹事、ライオン・テーマ、テール・ツイスターと綿密な事前の打合せが必要です。

その際の留意点としては、毎回同じ筋書きにならないよう気を配ることが第1です。たとえば有名なゲストスピーカーを招いた場合は、前段の形式的行事を省略し、会長の開会あいさつの後、ゲスト・スピーチに移り、スピーチのために十分な時間を取るというように、その時その時の主目的に合わせた時間割を組む必要があります。例会では、特に定められたやり方はありません。クラブが一番効果的だと思う方法を取ってください。

花見例会や納涼例会などで、定例の日時・場所を変更する場合には、早めに周知しましょう。

すべての例会は決定された時間に定刻通り開会し、また定刻通りに閉会します。クラブのいかなる会合においても、定足数はグッドスタンディングの会員の過半数の出席を必要とします。他に特に規定する場合を除く、いかなる会合においても出席した会員の過半数の決議はクラブ全体の決議となります。

※会則改正の決議には3分の2の賛成を要する。

■例会前に準備すべき事項

- ・必要事項の一覧表を準備する
 - ・出席表
 - ・メンバー名札
 - ・ゴング、槌、国旗、クラブ旗
 - ・理事会、例会資料
 - ・贈呈されるべきアワード
 - ・演台など例会に必要な備品の一覧事項
 - ・委員会や会員への連絡事項
 - ・特に会長が留意すべき事項
- ・ゲスト・スピーカー紹介用の資料及び名札の準備を確認する
- ・入会式は新会員用キットを準備する（襟章、冊子など）

■例会においてなすべき事項

- ・クラブ幹事は理事会・例会運営責任者として予定通り進行しているか注意を払う
- ・時間通りに開会・閉会する
- ・出された食事の総数を点検し、伝票に署名する
- ・会費などを受け取り、領収証を発行する
- ・例会議事録を作成する
- ・今後のクラブ行事を発表する

■例会後になすべき事項

- ・会費やドネーションなどの入金をチェックし、会員元帳に会費の入金を記入する
- ・会員の出席およびメイク・アップを記録する
- ・贈呈されたアワードを記録する
- ・集めた金銭を会計に引き渡す

新入会員入会式

入会式は、ライオンとしての奉仕の始まりを象徴するものであり、生涯にわたる会員維持につながる重要な要素でもあります。心のこもった入会式に続いて綿密なオリエンテーションを行い、有意義な形でクラブの活動に参加できるように促せば、新会員はクラブへの関心を失わず、熱心に活動を続けてくれるでしょう。

何事も心を込めて行うには適切な準備が必要ですが、入会式も同様です。それは最も重要な出席者、つまりクラブに迎えられる新会員にとって意義深いものでなければなりません。

入会式の準備

- (1) 最新の新会員キットをキャビネット事務局より入手する。
- (2) キットに含まれている証書を準備する

キットには2種類の証書が含まれています。1枚は新会員用、もう1枚はスポンサー用です。

必要事項を丁寧に記入し、名前を正確に書き、正式な署名を付してください。

(3) スポンサー用の証書とピンを新会員用のものと分ける

新会員キットには、スポンサーに渡す証書と特別なスポンサーピンが含まれています。

新会員が入会式の最後にキットを受け取る時に、スポンサーの証書とピンは渡さないように注意してください。

(4) 入会式で話すことを考える

入会式はクラブ会長が行うことが慣例となっていますが、元クラブ会長など尊敬されている古くからの会員なども適役です。地域の習慣や、クラブや地区の活動によって、入会式はさまざまに異なるものとなるはずですが、さらに、関連の会員種別に合った入会式にすることも可能であり、奨励されています。入会式の企画に当たっては、それが厳粛であるとともに、参加者にとって有意義なものとなるよう心がけることが大切です。

(参考) 333-E 地区新入会員入会式要領

準備	幹事は以下を確認 <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員とスポンサーが会場入りロドア外で待機。 ・ラペルピン、ランチョンバッジ、ライオンズの誓いを準備。 ・最前列に新会員の席を用意。 会長は、演壇に立つ。
① 開会宣言	
幹事	只今より、ライオンズクラブ国際協会333-E地区〇ROZ 〇〇ライオンズクラブ 新入会員 入会式を開会いたします。皆様、ご起立ください。
② 新入会員並びにスポンサー入場	
幹事	スポンサーの先導によりまして、新入会員の入場でございます。拍手でお迎えください。
	(入場) (BGM: ライオンズヒム) (スポンサーと新入会員はメンバーの方を向いて並ぶ。)
幹事	メンバーはご着席ください。スポンサーと新入会員はメンバーの方を向いてください。新メンバーとなる〇〇さん、スポンサーは〇〇ライオンです。
③ スポンサーによる新入会員の紹介	
幹事	それでは、スポンサーより新会員の紹介をお願いいたします。
スポンサー	※スポンサーは、新会員の勤務先や職種・年齢等を紹介する。 ※当日の例会資料に「入会申込書」を入れること
幹事	スポンサーの〇〇ライオンは、席にお戻りください。
副幹事	(入会キット、ラペルピン、ランチョンバッジ、ライオンズの誓いを用意)

④ ラベルピンの伝達	
幹事	それでは、会長より新入会員にラベルピンを付けてください。
会長	(会長は、新入会員にランチョンバッジを胸に付ける。)
⑤ 宣誓	
幹事	皆様、ご起立ください。 新入会員は、演壇に向かい、会長に続いて「ライオンズの誓い」をご唱和ください。
新メンバー	(「ライオンズの誓い」を唱和)
幹事	新入会員は、メンバーの方を向いて右手を挙げて、「We Serve」と高らかに唱えてください。
新入会員	(「We Serve」を唱える)
	(メンバー一同拍手)
幹事	メンバーはご着席ください。 〇〇さんは、〇〇ライオンズクラブのメンバーとしてライオンズの誇り高きラベルピンが授与され、「ライオンズの誓い」を行いましたので、今からは〇〇ライオンと呼ばれることをご承知おきください。
⑥ 会長より歓迎の挨拶	
幹事	〇〇ライオンは会長の方を向いてください。 それでは、会長より歓迎の挨拶をお願いいたします。
会長	(歓迎の挨拶)
⑦ 新入会員の挨拶	
幹事	新メンバーである〇〇ライオンは、メンバーの方を向いてご挨拶をお願いいたします。
新入会員	(挨拶)
⑧ ライオンズ・ローア	
幹事	会員委員長より、歓迎のライオンズ・ローアをお願いいたします。 皆様、ご起立ください。
会員委員長	(ライオンズ・ローア)
幹事	拍手をお願いいたします。
⑨ 所属委員会の発表	
幹事	〇〇ライオンの所属委員会は、〇〇委員会です。 ※事前に委員会は決定しておく。
⑩ 閉会宣言	
幹事	只今をもちまして、〇〇ライオンの入会式を閉会させていただきます。 〇〇ライオン、お席にお座りください。 (最前列に用意しておく)

インターネット報告システム「eMMR ServannA」・「Lion Portal」

- 「eMMR ServannA」(役員登録・クラブ情報の登録・特典会員登録(MyLCIで会員動静報告をした後の処理)・LCIF寄付報告、年次大会参加登録等)
- 「Lion Portal」(会員動静・国際会費請求書等の閲覧と印刷・国際大会代議員登録・アクティビティ報告)

(2025年5月現在)

I. eMMR ServannA について

2025年6月までは現クラブ役員(24-25年度役員)のアカウント(ID・パスワード)でログインが可能です。2025年7月から25-26年度役員がログインできるよう、今期役員がeMMR ServannAで次年度役員の登録・報告を行うと共に、次年度役員のアカウントの設定をします。設定したアカウントで25-26年度役員が7月よりログイン可能となります。(役員登録については後述“次期クラブ役員登録”をご参照ください。)

- 333-E 地区ホームページ (<https://lc333-e.com>) 内に「eMMR ServannA」のリンクがあります。操作マニュアルをご参照ください。
- システム上、報告できない日(毎月1日)や時間があります。サバンナトップページにて都度ご確認ください。
- eMMR ServannA に会長・幹事のアカウントでログインすると、以下の「報告・登録」ができます。会長・幹事以外のアカウントは閲覧のみで「報告・登録」はできません。
 - クラブ役員登録・ログインアカウントの設定
 - クラブ情報の登録
 - LCIF 寄付報告
 - 地区年次大会、研修会等の参加登録
- 「国際協会送金専用口座」の表示
eMMR ServannA には国際協会関係の入金口座(3つのクラブ別専用口座番号)を表示する機能があります。「国際協会送金専用口座」をクリックすると、入会金・国際会費・クラブ用品費・終身会員費・LCIF 寄付・チャーター費など国際協会への送金の振込み先が(1)(2)(3)と目的別に表示されています。振込先(口座番号)は、必ず年度初めにご確認ください。
- 次期クラブ役員登録(同時にログインアカウント設定)
今年度のアカウント(ID・パスワード)が有効なうちに次期クラブ役員4役(会長・幹事・会計・会

員委員長)の登録と次年度のアカウントを設定しなければなりません。

eMMR ServannA の「クラブ管理」で行います。

- (1) クラブ会長・クラブ幹事のアカウントでログインすると各登録・報告が可能です。
クラブ会計・会員委員長のアカウントは閲覧のみ可能です。
- (2) 次期クラブ役員登録締切は6月13日です。
締切直前は多くのクラブが報告されるためエラーとなる可能性が高くなります。余裕をもっての報告をお願いいたします。
- (3) ID は、国際協会会員番号です。
- (4) パスワードは4文字以上32文字以内のアルファベット及び数字の組合せで自由に設定できます。入力後に必ず「変更する」ボタンをクリックしてください。
- (5) パスワードはセキュリティの関係で登録した方のみが分かります。キャビネット事務局では分かりませんので、必ずクラブの責任において厳重に管理し、次期役員に引継いでください。
- (6) 6月までは今年度アカウントを用いますので、くれぐれも今年度分を削除しないようご注意ください。
- (7) 次年度アカウントが使用できるのは2025年7月からです。

□ クラブ情報の登録

eMMR ServannA → 「クラブ管理」 → 「クラブ情報を表示する」

クラブ事務局の住所、例会場、例会日など情報が常に最新の状態で登録されているように注意してください。変更や訂正が生じた際は、必ず再登録してください。

□ 「LCIF 寄付報告」

LCIF 寄付のみサバンナにて報告、それ以外のクラブアクティビティは Lion Portal にて報告してください。

LCIF 寄付の報告は、画面下部の「LCIF」に入力してください。『その他の（一人当たり20ドルや100ドルなど）』及び『クラブ寄付』は画面の金額欄に送金した日本円を入力して内訳を記入してください。ドル欄には入力しないでください。「MJF1000ドル一括寄付」は「MJF0名」の列をクリックして表示される「今月のMJF」画面で報告をお願いいたします。ここで入力されませんと、寄付者の\$1000のカウントが計上されません。\$1000寄付を行った際は、必ず会員一覧から名前を選択し報告してください。

「LCIF合計金額」が国際本部に送金した金額と同じであることを確認してください。寄付時に提出したエクセル「LCIF寄付報告書」と照らし合わせ、金額を間違えないよう入力してください。

「クラブ活動報告書」の提出ボタンを押す前に一度「書きかけ」ボタンを押して保存することもできます。LCIF寄付金額を確認してから、最後に「キャビネットに提出する」ボタンを押してください。ロックされて「済」マークが出ます。提出後に修正されたい時は、月末までであればキャビネット事務局(029-306-7750)でロックを解除いたしますのでご連絡ください。

*システム上、サバンナでの LCIF 寄付報告を入力できるのは、20 日～月末です。

□ 支部会員登録

Lion Portal にて支部会員登録をされた際はキャビネット事務局までご報告ください。 複合地区の会費は eMMR ServannA 「会員管理」→該当支部会員の「詳細」→会員区分の右側にある「支部会員である」にチェックが入ることで請求されます。チェックマークがついていない場合は、キャビネット事務局までご連絡ください。

□ 支部会員・特典会員の登録

Lion Portal にて会員動静を行われた際、eMMR ServannA には全て正会員として反映されます。支部会員・特典会員（=家族会員・学生会員）が入会された時は、必ずキャビネット事務局へ「会員動静における報告書」を提出してください。キャビネット事務局にて eMMR ServannA への変更追記を行います。特に特典会員の報告がキャビネット事務局へない場合、正会員として会費が請求されますのでご注意ください。

□ 「ライオン誌」の発送先は eMMR ServannA に登録されている住所になります。

「会員管理」の「送付先の選択」で○をつけた住所（◎自宅◎勤務先◎事務局）に送付されますので、送付先が自宅又は勤務先であれば、その下の住所を日本語で入力してください。クラブ事務局への送付であれば、「クラブ管理」の「クラブ情報を表示する」にある、事務局住所に送付されます。変更が生じた時は、必ず修正してください。

II. 国際本部システム「Lion Portal」について

Lion Portal にて操作するためにはまず Lion Portal アカウントを取得します。取得方法及び操作方法については OSEAL 調整事務局の日本語情報サイト (<https://sites.google.com/site/pacificasianja/>) ホームページにあるマニュアルをご参照ください。OSEAL 調整事務局主催のウェビナーリンクもありますのでご覧ください。クラブ会長、幹事のアカウントにて報告ができます。

□ 会員動静

「Lion Portal」の画面から ID・パスワードを入力し、ログイン→「私のクラブ」→「クラブ会員の管理」より入退会の登録を行います。

「クラブ会員の管理」からできること：

・新会員を登録 ・会員を編集 ・再入会員 ・転入会員 ・退会

《入会》

子会員の住所については、親会員と同じ住所が登録されることになります。

※サバンナには、特典（家族）会員として自動的に反映されませんので、キャビネット事務局まで「会員動静における報告書」をご提出ください。

《退会》

※親会員が退会すると「家族会員世帯」が取消となり「子会員」全員が自動的に通常の会員（正会員）となりますので、ご注意ください。親子両方の会員が退会される際は、家族会員を先に退会処理してください。

※Lion Portalにて会員動静を行いますと、自動的に eMMR ServannA に反映されますが、入会の際反映されるのは、ローマ字の“氏名”と“入会日”のみです。「会員管理」にて、氏名の漢字への変更、ふりがな、ライオン誌の送付先の選択、及び送付先住所の入力をお願いいたします。

□ アクティビティ報告

手順は、「Lion Portal」ログイン→「奉仕」→「私のアクティビティ」→「奉仕アクティビティの作成」から入力します。

受益者数のガイドラインが、全国統一規格として、8複合地区 GST コーディネーターにより作成されております。操作マニュアル及び「受益者数ガイドライン」は OSEAL 調整事務局の日本語情報サイトをご確認ください。

※「LCIF 寄付」については、サバンナにて報告いただきますので「Lion Portal」での報告は不要です。

□ 国際会費請求書とクラブ会計計算書の閲覧・印刷

「Lion Portal」ログイン→「私のクラブ」→「クラブ会計計算書」を開きます。各月の会計計算書と半期分国際会費請求書があり表示・印刷することができます。上半期・下半期会費以外に、新入会員の会費や用品を購入した際は、その月に請求が計上されますので、「Lion Portal」から確認後、速やかにお支払いください。振込口座は各クラブ異なりますため、サバンナにてご確認ください。

□ 国際大会代議員登録

「Lion Portal」→「私のクラブ」→会員のアクションにある「クラブ代議員の管理」→「○国際」にチェックを入れると、次回の国際大会が表示されるので、チェックを入れて「次へ」をクリックします。登録に進み完了しますと E メールで代議員登録確認書が届きます。

会計の職務

1. クラブ会計の区分

クラブ会計は、運営費会計、事業費会計の一般会計と特別会計に分けます。

2. クラブ会計の原則

- (1) 通常各会計間では、相互流用を認めないのを原則と致します。
- (2) 特に、事業資金は、その地域社会から調達されるのを前提と致しますので、これをクラブ運営のために支出することは禁止されております。この事実は、ライオンズクラブの誇りとするところであり、他の多くの奉仕団体と根本的に違っている点であります。
- (3) 運営費の流用の例外

運営費はクラブ存立の基盤であり、運営資金は当然クラブの運営のみに用いられるべきであります。しかしながら、運営費に余裕がある場合は例外として、これを事業費に流用することが認められます。年度末においてクラブ運営費会計に赤字を生じることは、国際本部の重大関心事であり、地区ガバナー諮問委員会においても、議長は、各クラブが経済的にグッド・スタンディングであるよう、注意を喚起することが求められております。

3. 理事会の専決事項

- (1) クラブ会計の執行者として、理事会が専決し得るのは、運営費会費と会食費会計の執行の範囲に限られていると解すべきで、アクティビティを含むすべての新企画及び新施策に対する支出は、まず理事会で検討立案のうえ、クラブの定例会あるいは特別会合に提案され、承認を得なければなりません。
- (2) すべての支出は、理事会の承認を必要といたします。
- (3) 理事会は本クラブの収入を超過する債務をおってはなりません。また、クラブの承認した企画及び新施策に反する目的のためにクラブの資金を支出することを承認してはなりません。

4. 財務委員会の役割

財務委員会は、理事会の諮問機関であり、クラブ会合中に経常支出以外の臨時支出の要請または提案がなされた場合、すべて財務委員会に付託されます。又、会費の速やかな徴収を図り、必要な場合は徴収を手伝います。

5. クラブ会計事務

クラブ会計事務は、収支の実績が常に予算との関連のもとに有効適切に統制されるよう、複式簿記に基づいて、整然かつ明瞭に記録、計算されなければなりません。

6. クラブ備品およびこれに類する財産の取り扱い

クラブ備品およびこれに類する財産は、理事会の管轄下にあることはもちろんですが、クラブ会計とは別個に、ライオンズ・テーマがその管理責任者となります。したがって、これらの財産の購入の際に資産勘定として計上しないで、経費として処理致します。

7. 国際会費・複合地区・地区会費

- (1) 国際会費は半期分が6月および12月のクラブ会員数に基づき、7月および1月に請求され、さらに新会員があるごとに、残りの半期分の月割り計算で入会月に請求されます。「Lion Portal」ログイン→「私のクラブ」→「クラブ会計計算書」より請求額・口座残高を確認し、レートと納入先（サバンナ「国際協会送金専用口座」）を調べ納入してください。

国際協会専用口座の種類

①入会金・国際会費・クラブ用品費・終身会員費・レオクラブ会費等
また②、③以外の送金

②LCIF 寄付金

③チャーター費、国際大会登録に伴う送金

口座名義

ライオンズクラブ国際協会オセアル合同会社

※ 毎月1日にレートが更新されます。ホームページでライオンズレートをご確認ください。

※ 請求書は参考資料に掲載しておりますのでご参照ください。

- (2) 国際本部において、クラブがグッドスタンディングであると認定する第1の条件は、国際本部に対する納入金の滞納がないことです。90日経過するとステータスクオ（活動停止クラブ）に該当となりますのでご注意ください。

- (3) 国際本部の請求書上の数字の末尾にCRと記入してある場合は、CRは国際本部がクラブに対し、負債を負っていることを意味します。これは、過誤納により生じるものですので、次回の請求額からこの分を差し引いてお支払いください。

- (4) 何らかの事由により、国際本部台帳または関係事務局台帳の会員が、事実と相違しているために、

請求書の金額に誤りがある場合には、事実の通り訂正するよう、国際本部または OSEAL 調整事務局へ理由を付けて申し出なければなりません。(日本語でよい。)

複合地区・地区費は 6 月および 12 月のクラブ会員数に基づいて計算され、おおむね 8 月および 2 月初旬にクラブ事務局宛て請求書が発送されます。請求書にある地区の口座へ納入期限までに納めてください。

- ※ 地区費振込の際は、振込人名はクラブ名のみでお願いします。
(地区名や R・Z 等はいれなくてください)



ライオンズクラブ国際協会

300 West 22nd Street
Oak Brook, Illinois 60523-8842
Tel: 630-571-5466

クラブ番号	ライオンズクラブ名
25412	USHIKU-KUKIZAKI JAPAN

地区	月	日	年	地区番号
333E	6	30	24	5158

注意
ライオンズクラブ国際協会口座への支払は、みずほ銀行第5集中支店宛て、各クラブに割り当てられたクラブ口座支払のための専用口座番号へ振り込んでください

〒〒300-1232
牛久市上柏田4-1-1 牛久市商工会館 2階
(株)エステートリンク 桜井様方
牛久基崎ライオンズクラブ御中

米ドルに対する、今月の為替レート

160.698247

振込金額

1

000025412 00178800 6



日付			インボイス番号	会計計算書は、記録としてクラブで保管してください			請求及び入金
月	日	年		CLUB#	明細		
5	31	24	SAD-1479041	25412	BALANCE FORWARD.....U.S. CURRENCY		0.00
6	30	24			SEMI-ANNUAL DUES 07-24 TO 12-24		1788.00
					43 FAMILY MEMBERS @ 12.00	516.00	
					1 LIFE MEMBERS No Charge	0.00	
					53 REGULAR MEMBERS @ 24.00	1272.00	

月	
MAR24	0097
会員報告	本部の記録

会員記録の変更は、オンラインで行ってください。
お問い合わせ先：
memberservicecenter@lionsclubs.org または Fax
630-571-1683



USD 1788.00
JPY 287328.00

金額の横の「CR」は、剰余金を意味します

2024-2025 度上半期 請求書

発行日：2024年8月1日
納付期限：2024年9月15日

300-1232
牛久市上柏田4丁目1-1
牛久商工会館2階

牛久基崎
ライオンズクラブ 御中

請求書発行：
104-0031
東京都中央区京橋1-2-4
八重洲ノリオビル5階
一般社団法人日本ライオンズ

請求金額合計
¥470,430

地区 振込先：
常陽銀行 本店営業部 普通預金 3671509
口座名 ライオンズクラブ国際協会333-E地区
特別会計 キャビネット会計 岡田浩一(オカダコウイチ)

<請求内容明細>

*備考欄に「年額」の記載の無い項目の単価は6カ月分

人数欄

- (A) 2024年度上半期分請求。「人数」欄は2024年6月末会員数(2人目以降の家族会員、学生会員、レオライオン、若年成人会員、支部会員は除く)
- (B) 従来の家族会員(2人目以降)の2024年度上半期分請求。「人数」欄は2023年6月末会員数
- (C) 支部会員の2024年度上半期分請求。「人数」欄は2024年6月末会員数(2人目以降家族会員、学生会員、レオライオン、若年成人会員は除く)
- (D) 学生会員の2024年度上半期分請求。「人数」欄は2024年6月末会員数

(1) 複合地区

人数欄	請求項目	月額	単価	人数	金額	備考
(A)	複合地区運営費	180	1,080	49人	52,920	複合地区運営費180円×半期
		80	480	49人	23,520	日本ライオンズ*賛助会費80円×半期
(A)	複合地区大会費	40	240	49人	11,760	複合地区大会費40円×半期
(A)	青少年育成資金負担金		500	49人	24,500	年額
(A)	国際理事候補者支援基金		100	49人	4,900	年額
(C)	支部会員複合地区運営費		380	6人	2,280	複合地区運営費380円(年額)
		80	480	6人	2,880	日本ライオンズ*賛助会費80円×半期
(B)	従来の家族会員(2人目以降)複合地区運営費		500	0人	0	年額
(D)	学生会員複合地区運営費		500	0人	0	年額
複合合計					122,760	

(2) 日本ライオンズ

「2024年度上半期ライオン誌送料」

2024年6月末会員数(2人目以降の家族会員、学生会員、レオライオン、若年成人会員を除く)を基準とした上半期2回分(7月、10月に発行)の送料

(家族会員は1世帯に1冊ライオン誌を発送します。学生会員、レオライオン、若年成人会員へはライオン誌を発送しますが、送料は請求しません)

	請求項目	単価	数量	金額	
--	個人発送(単価=087×2回)	134	55人	7,370	

*『ライオン誌』の発送方法には個人宛に1冊ずつお送りする「個人発送」と、クラブ・メンバー分をまとめてお送りする「クラブ発送」があります。発送方法の変更をご希望の場合は、一般社団法人日本ライオンズ・ライオン誌 (Email:office@thelion.jp/fax:03-6674-8781) へ12月15日までにご連絡ください。今年度下半期から変更致します

▼裏面へ続く

(3) 地区

人数 欄	請求項目	月額	単価	人数	金額	備考
(A)	地区費	700	4,200	49人	205,800	
(A)	地区大会費	200	1,200	49人	58,800	
(A)	青少年育成資金		0	49人	0	年額
(A)	IT推進援助金		0	49人	0	年額
(A)	薬物乱用防止活動資金		300	49人	14,700	年額
(A)	アイバンク協力金		1,000	49人	49,000	年額
(A)	333-E地区事業支援基金		0	49人	0	年額
(C)	支部_地区費	175	1,050	6人	6,300	
(C)	支部_地区大会費	50	300	6人	1,800	
(C)	支部_青少年育成資金		0	6人	0	年額
(C)	支部_IT推進援助金		0	6人	0	年額
(C)	支部_薬物乱用防止活動資金		150	6人	900	年額
(C)	支部_アイバンク協力金		500	6人	3,000	年額
(C)	支部_333-E地区事業支援基金		0	6人	0	年額
(D)	学生_地区費		500	0人	0	年額
準地区合計					340,300	

2025-2026年度 地区費その他納入先一覧

項目	2025-2026年度				備考
	正会員	支部	特典会員	学生	
国際協会費	\$50	\$50	\$25	\$25	(年額)
	\$4.17	\$4.17	\$2.09	\$2.09	(月額)
	\$25.00	\$25.00	\$12.50	\$12.50	半期毎の請求
	\$35	\$35	\$35	\$0学生免除	入会金 (初年度のみ)
上期分：7月下旬発送・6月末会員数 下半期：1月下旬発送・12月末会員数 国際協会費請求書は郵送されません。「Lion Portal」 → 「私のクラブ」 → 「クラブ会計計算書」よりダウンロードしてください。 (振込先) みずほ銀行 第5集中支店 (797) ライオンズクラブ国際協会オセアル合同会社 普通預金 【クラブ別専用口座 (1) (2) (3)】 (1) 入会金、国際協会費、クラブ用品費、終身会員費、レオクラブ会費等 (2) (3) 以外の送金 (2) L C I F 寄付金 (3) チャーター費、国際大会登録に伴う送金 ※ 上記振込口座はクラブ毎異なります。 各専用口座は「サバンナ」 → 「国際協会送金専用口座」よりご確認ください。					

複合地区運営費	3,120	1,340	500	500	(年額)
内 運営費充当分	1,680	0	500	500	(年額)
	140	-	-	-	(月額)
	840	0	(年請求)	(年請求)	半期毎の請求
内 日本ライオンズ賛助会費	1,440	1,440 *	0	0	(年額) *複合地区から支出する100円含む
	120	120	0	0	(月額)
	720	720 **	0	0	半期毎の請求 ** 720円から50円を差し引いた670円が半期請求額
複合地区大会費	480	0	0	0	(年額)
	40	0	0	0	(月額)
	240	0	0	0	半期毎の請求
青少年育成資金	500	0	0	0	年額
国際理事候補者支援金	100	0	0	0	年額
緊急援助資金負担金	0	0	0	0	年額
地区会費	8,400	8,400	0	500	(年額)
	700	700	0	-	(月額)
	4,200	4,200	0	(年請求)	半期毎の請求
地区年次大会会費	2,400	2,400	0	0	(年額)
	200	200	0	0	(月額)
	1,200	1,200	0	0	半期毎の請求
青少年育成資金	0	0	0	0	年額
I T 推進援助金	0	0	0	0	年額
薬物乱用防止活動資金	200	200	0	0	年額
アイバンク協力金	1,000	1,000	0	0	年額
333-E地区事業支援基金	0	0	0	0	年額

上期分：7月下旬発送・6月末会員数 (年額：上期に請求) 下半期：1月下旬発送・12月末会員数
 納入期限：上期7月～12月分 9月15日迄 下期1月～6月分 2月末日迄

複合地区・地区費の請求書は、一般社団法人日本ライオンズより「サバンナ」 → 「クラブ管理」(クラブ情報を表示する)で登録したクラブ事務局住所に郵送されます。

(振込先) 常陽銀行 本店営業部 普通預金口座番号 3671509
 ライオンズクラブ国際協会333-E地区 特別会計キャビネット会計 大窪聡史 (オカボサトシ)

333-E 地区「統一見解」

1. メンバー間の呼び方について
 - (1) 自己紹介の場合 (例) ライオン〇〇
 - (2) 相手を紹介、又は呼ぶ場合 (例) 〇〇ライオン

2. 書式上の L 字の使い方について
 - (1) 文書記載のときには L を姓の先を書く。
 - (2) 但し、役職名を付したとき、及び外国人の場合は L 字を不要とする。
 - (3) 封書・葉書・招待状・賞状等の宛名(姓名)は〇〇様でよい。
 - (4) L の後にドット (.) を付けない。 ダメな例 L.〇〇

3. ライオンズ用語を正しく使いましょう
 - (1) 文章の文字を略して ZC と記載してある場合でも、読み上げる場合、ゾーン・チェアパーソンと読むこととする。
 - (2) ACT、EXT 等についても、それぞれアクティビティ、エクステンションと読むこととする。TT、CAB 等もこれに準ずる。
 - (3) R には第をつけない。 (例) 1 R

4. エレクトについて
エレクトという用語は地区ガバナーエレクトにのみ用いる。

5. 役職名に使用する数字について
役職名に使用する数字はアラビア数字(0、1、2、3、4、5、6、7、8、9)とする。
(例) 第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー

6. 国旗・ライオンズ旗への敬礼
周年行事、記念例会、キャビネット会議等での国旗、ライオンズ旗に対する敬礼は最初だけにし、以後は省略してよい。

7. 地区構成員の祝金について
地区構成員(ガバナー、ZC、及び地区委員)が各クラブへの例会訪問については祝金等一切持参しないことを原則と致します。

8. 胸元「ラベルピン」掲示位置について
 正式なラベルピンマークを一番上に掲示し、キャビネットロゴマークや国際大会記念等のラベルピンは上から 2 番目以下につける。

9. 例会等での「国旗」「ライオン旗」設置位置について

各旗を設置する際は国旗を中央に設置する事が望ましい。

また、国旗以外の旗（ライオン旗等）は国旗より下げた位置に設置する。

10. クールビズについて

ライオンズクラブでは、地球温暖化対策のため、「クールビズ」を提唱しており、期間は毎年5月1日から9月30日までと致します。

記念式典・エクステンションについて

1. クラブの記念式典

5年、10年、15年など、5年刻みの記念式典は、チャーターナイトとは趣を異にする式典です。クラブの記念式典を行うのは、どこまでもそのクラブ自体が今日まで発展し続けてきたことを会員同士で喜び合い、さらに将来への発展とライオニズムの高揚を再確認しあうものと理解しましょう。特にクォーター（25年刻み）の式典は、そのなかでも特別な記念式典となります。

イ. クラブ会員同士の祝い事を本旨とします。

ロ. 記念に相応しいアクティビティを考えましょう。

ハ. 家族の協力に感謝し、より認識を高める計画を考えましょう。

ニ. 招待客の範囲はクラブの自主性にゆだねます。

※招待外の地区役員等が自発的に参加した場合は相応に取り扱ってください。

「地区運営要項より」

(1) 5年毎に廻ってくる結成または、チャーターナイト記念の周年行事をどのように行うかは各クラブの自由である。25周年、50周年、75周年は、国際会長のメッセージが送られてくる。

(2) 周年行事を行う時期は、チャーターナイトの年から数えて、実施時期とするのが望ましい。

例) 1986年5月にチャーターナイトの場合
2025年7月～2026年6月が40周年となる。

2. エクステンション（新クラブ結成）の基準

イ. 申請書

正式に結成され、役員を選出した いかなるグループ、クラブ又は集まりも、ライオンズクラブのチャーター（認証状）を国際協会に申請することができる。申請書は、国際理事会が定めるとおりに国際本部に提出されなければならない。同理事会が申請を承認した後に、本協会の会長及び幹事が署名したチャーターが交付される。このチャーターが正式に交付されたとき、クラブは結成されたものとみなされる。ライオンズクラブが認証状を受理することは、本協会の会則及び付則を受け入れそれに従うことに同意したことを意味すると共に、ライオンズクラブ国際協会が法人組織化された州で有効となっている法律に基づき、同会則及び付則によって解釈され統制される関係を、本協会との間に結ぶことを受け入れたことを意味する。

ロ. 書類

いかなる新クラブも、下記の書類が国際本部において受理され、理事会又はその代理人によって承認されるまで、チャーターを受けたり、ライオンズクラブ国際協会の記録に記入されたり、正式にライオンズクラブとして認められることはない。

- a. 必要事項がすべて記入された公式のチャーター申請書。
- b. 最低 20 人のチャーターメンバーの氏名。大きな既存のクラブが友好的に分割する場合を除き、このうち 75%は、同じ複合地区内で居住または就業している（ただし、会員増強委員会が承認した場合にはこの限りではない）新しい会員でなければならない。
- c. チャーター費全額支払いの確認書-- チャーター費は US\$35 である。正ライオンズクラブから転籍するグッドスタンディングのライオンズのチャーター費は、US\$20 である。ただし、クラブ支部会員はこれが免除される。チャーター費及び入会費は払い戻しされない。
 - (1) 国際会則に規定されているか、又は理事会の決議で制定されたチャーター費以外は、いかなる地区、準地区、クラブも、追加のチャーター費を請求することはできない。
 - (2) アメリカ及びカナダ以外の国の場合、ライオンズクラブ国際協会の口座に資金が振り込まれたことを示す銀行発行の振込金受取書の写しを提出すれば、資金の支払いが完了したとみなされる。
 - (3) 国際協会の承認を得ないクラブ・チャーター申請に対しては、US\$100 の手数料が徴収される。

ハ. チャーターメンバー数

ライオンズクラブのチャーター承認後 90 日以内に入会した全ての会員がチャーターメンバーと見なされる。ただしこの 90 日の期間内にチャーターメンバーが国際協会に報告され、かつ納入金が速やかに支払われることが条件である。未払金のあるクラブは、現存の活動停止方針に従う。

ニ. 新クラブのスポンサー

- a. すべての新クラブは、複合地区会則及び付則の規定に従って、クラブ、ゾーン、リジョン、地区キャビネット、あるいは地区委員会によってスポンサーされなければならない。新クラブのスポンサーは、クラブが存在する地区の境界線内から出るものとする。新クラブのスポンサーは、その責任について十分に説明を受けるものとする。スポンサー・クラブは、所属地区の地区ガバナーの承認に基づいて、一つ又はそれ以上の共同スポンサー・クラブの助力を受けること

ができる。共同スポンサー・クラブは、他の地区から来ても良い。新しい国でのクラブ結成の場合には、コーディネーター・ライオンが助力する。

- b. 新しい地域の最初のクラブは、ライオンズクラブ及び(又は) その地区にスポンサーされなければならない。その後追加される各新クラブについては、地区に属さないその地域が暫定地区を編成するまでの間、最初のスポンサー地区内のライオンズクラブがスポンサーを務めることができるほか、有資格のガイディング・ライオン任命を含むスポンサーとしての全責任を承知することを条件に、別の地区のライオンズクラブもスポンサーを務めることができる。特別な事情があると理事会又は執行委員会が判断した場合、地区に属さない地域のクラブをスポンサー・クラブにすることができる。これら特別な事情の下に

新クラブを承認するための基準

- (1) 既存の地区に属するライオンズクラブには、予定されるクラブに地理的に近いクラブが他にない場合。
 - (2) スポンサーとなることに伴って経済的責任を負う必要が起こるかもしれないが故に、地区に属するクラブの中にスポンサーになるクラブがない場合。
 - (3) スポンサーになる予定のクラブ会員たちが、予定される新クラブ及びその会員たちと個人的な深いつながりを持っている場合。
 - (4) 地区に属するクラブがライオンズを推進できないか推進を拒否しているため、地区に属さないスポンサー・クラブの経済援助が、新地域でライオンズ会員を増やすための唯一の方法である場合。ただし、チャーター費だけに限られる。
- c. ライオンズ紋章が刺繍され、クラブ旗に付けることができる「新クラブ・スポンサー」パッチが、スポンサー・クラブに交付される。

ホ. クラブ名

- a. 新クラブの名前には、そのクラブが存在する自治都市又はこれと同等の政府行政区分の名を使わなければならない。「自治都市」とは、市、町、村、県、郡など正式な政府単位である。新クラブが自治都市内に存在しない場合には、そのクラブが存在する公式政府単位の名称で、最も適切かつその地で識別できる名称を使う。ただし、会員増強委員会の投票により承認された場合にはこの限りではない。
- b. 同じ「自治都市」又は同等の政府行政区分に複数のクラブが存在する場合に用

いる「区別するための名称」は、同じ「自治都市」又は同等の政府行政区分にある他のクラブとは別に、はっきりと識別できるような名前であれば何を使ってもよい。区別するための名称は、自治都市名の後に括弧で区別して、協会の正式な記録に記入される。

- c. 「ホスト・クラブ」という言葉は、その自治都市の親クラブを認める名誉なタイトルである。その他の特別な特典又は特権は伴わない。
- d. ライオンズクラブの名称には、ライオンズクラブ国際協会の会長を務めた者以外、現存者の名前を使ってはならない。
- e. いかなるライオンズクラブも、その名称に「International (国際)」を付け加えることはできない。
- f. ライオンズクラブを区別するための名称として、「レオ」という言葉を付け加えられる。
- g. ライオンズクラブの名称に企業名を含める場合には、当該企業がクラブの命名に関連して企業名の使用を認可することを証明する手紙あるいは書類が、企業名を含むクラブ名の承認に先立ち、提出されなければならない（例えば、社用箋を用いての企業代表からの文書）

へ. クラブ境界線

クラブの境界線は、クラブが存在する自治都市又は同等の政府行政区分の境界線と同じもの、あるいは、地区ガバナーの管轄範囲にある単一地区、準地区、又は暫定地区内とし、そのクラブが存在する複合地区及び（又は）地区の会則及び付則の規定に従い、地区キャビネットの承認がなければならない。

ト. チャーター承認日

チャーター申請書が承認された日を、チャーター承認日とする。この年月日が、クラブのチャーターと協会の公式記録に記入される。

チ. チャーター

- a. ライオンズクラブ国際協会の会長及び幹事が、新クラブのチャーターに署名をする。スポンサーのクラブ、地区キャビネット、又は地区委員会の名も、記入される。
- b. 新クラブのチャーターは、地区ガバナー又はコーディネーター・ライオンに直接送られる。地区に属さない新クラブのチャーターは、新クラブの会長に送られる。
- c. チャーターナイトは、新クラブを国際協会の一員として地区内の他のクラブに

知らせる式典であり、クラブ結成後 90 日以内に開催することが望ましい。

リ. 会費

チャーターメンバーは、氏名がスポンサー・ライオンズクラブ、コーディネーター・ライオン及び国際協会に報告された月の翌月 1 日から、会費を支払う。新ライオンズクラブには、チャーターが締め切られた直ぐ後に、会費の請求書が送られる。

ヌ. チャーター申請書の提出期限

記入済みチャーター申請書が国際本部（米国イリノイ州オークブルック）に 6 月 20 日の業務終了時間までに提出された場合には、提出された年度内の結成分として処理される。

ル. 新クラブの存続保証

- a. 1 会計年度内に 10 以上の新クラブを結成する地区は、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、あるいはグローバル・アクション・チーム GMT エリアリーダー/特別エリア・アドバイザーのいずれかの承認が追加が必要となる。チャーター承認に先立ち、半期分の国際会費が納められなければならない。
- b. 地区が 1 会計年度に結成できるキャンパスクラブは 3 つまでとし、入会する学生会員は合計 100 人とする。この数を上回るキャンパスクラブの結成又は学生会員については、会員増強委員会の承認が必要となる。結成の目的上、キャンパスクラブとは 5 人以上の学生会員が入会するクラブであると定義される。
- c. ライオンズクラブ国際協会が過去に学生会員プログラムの不正使用を発見したことがあり、かつ学生会員が会員総数の 5%以上を占める地区は全て、以下の対象となる。
 - (1) その地区内の全てのキャンパスクラブは、学生会員の正真正確認が行われている間、ステータスクオ処分とされる。この処分は、かかる確認について地区に連絡が行われた日付から 45 日経過後直ちに行われる。
 - (2) その地区において、学生会員が 25%以上を占める従来型クラブは全て、学生会員の正真正確認が行われている間、ステータスクオ処分とされる。この処分は、かかる確認について地区に連絡が行われた日付から 45 日経過後直ちに行われる。

2025-2026年度 ガバナー公式訪問スケジュール(案)

現在、ゾーン・チェアパーソンとの日程調整を行っており
変更となる可能性があります。

日 程		ゾーン
8月23日	土	5 R 1 Z
8月24日	日	1 R 1 Z
8月28日	木	1 R 2 Z
8月29日	金	1 R 3 Z
8月30日	土	2 R 2 Z
8月31日	日	3 R
9月4日	木	4 R 1 Z
9月6日	土	4 R 2 Z
9月7日	日	5 R 2 Z
9月11日	木	6 R
9月12日	金	7 R
9月13日	土	2 R 1 Z

2025-2026 年度 クラブ周年行事予定表(案)

R	Z	クラブ	周年数	開催予定日
1	2	東海	55	2026年4月11日
1	3	常陸太田	60	未定
2	1	水戸西	55	2026年2月1日
2	1	水戸チアフル	10	2025年11月29日
2	2	神栖	20	未定
4	2	つくば西	35	2026年3月1日
4	2	つくばアウル	10	2026年4月4日
4	2	つくばHOPE	5	未定
5	2	取手中央	35	2025年11月23日
6	2	茨城八千代	45	未定
7	1	総和	50	2026年4月12日
7	2	水海道	50	未定
7	2	つくばみらい	30	2025年11月予定

2025-2026 年度 333-E 地区年間行事(案)

2025.5.22 現在

年	月日	行事内容	場所
2025	5/31(土)	次期キャビネット構成員・クラブ3役研修会	ザ・ヒロサワ・シティ会館
	7/7(月)	第1回 CAB 運営会議 リジョン・ゾーン編成検討委員会	ホテルテラスザガーデン水戸
	7/13(日)～17日(木)	第107回国際大会	アメリカ フロリダ州
	8/2(土)	第1回 CAB 会議	水戸三の丸ホテル
	8/23(土)	ガバナー公式訪問例会 5 R 1 Z	
	8/24(日)	〃 1 R 1 Z	
	8/28(木)	〃 1 R 2 Z	
	8/29(金)	〃 1 R 3 Z	
	8/30(土)	〃 2 R 2 Z	
	8/31(日)	〃 3 R 1 Z	
	9/4(木)	〃 4 R 1 Z	
	9/6(土)	〃 4 R 2 Z	
	9/7(日)	〃 5 R 2 Z	
	9/11(木)	〃 6 R 1 Z・2 Z	
	9/12(金)	〃 7 R 1 Z・2 Z	
	9/13(土)	〃 2 R 1 Z	
	9/27(土)	LCIF セミナー	ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸
	10/8(水)	ライオンズ奉仕デー	
	10/18(土)	GMT・WYPT 研修会	ホテルテラスザガーデン水戸
	10/23(木)～26(日)	OSEAL フォーラム	札幌
	11/6(木)	第2回 CAB 運営会議	Zoom
	11/9(日)	ライオンズクラブカンファレンス 平和ポスターコンテスト表彰式	ホテルテラスザガーデン水戸
	11/22(土)	第2回 CAB 会議	ホテルテラスザガーデン水戸
2026	2/5(木)	第3回 CAB 運営会議	Zoom
	2/5(木)	薬物乱用防止教育認定講師養成講座	ザ・ヒロサワ・シティ会館
	2/21(土)	第3回 CAB 会議	未定
	4/2(木)	第4回 CAB 運営会議	Zoom
	4/18(土)	地区年次大会・前夜祭 第4回 CAB 会議	ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸
	4/19(日)	地区年次大会	水戸市民会館
	5/16(土)	複合地区年次大会前夜祭	ホテル東日本宇都宮
	5/17(日)	複合地区年次大会	ライトキューブ宇都宮
	7/3(金)～7日(火)	第108回国際大会	香港

333-E 地区事業支援基金運用規則

- ① 当基金使用目的は LCIF の交付金事業に限る。
- ② 当基金のキャビネット負担支出額は各クラブ一事業負担額の 80% とし、上限は 100 万とする。

例：カンボジア小学校建設費

総 額 2,000,000 円

LCIF より 1,000,000 円

A クラブ拠出金 500,000 円	キャビネット負担	400,000 円 (80%)
	A クラブ負担	100,000 円

B クラブ拠出金 500,000 円	キャビネット負担	400,000 円 (80%)
	B クラブ負担	100,000 円

計 2,000,000 円

- ③ 当基金交付申請は、LCIF 交付金事業申請を一事業 2 クラブ以上が申請し、LCIF 交付金が決定したのち 333-E 地区キャビネットに事業支援基金交付申請を行う。
- ④ 当基金の運用は下記の役員によって決定する。

地区ガバナー

第 1 副地区ガバナー

第 2 副地区ガバナー

キャビネット幹事

キャビネット会計

LCIF 地区委員長

333-E 地区 内規慶弔見舞規定

1. クラブ会長・クラブ幹事は、慶弔に該当する事項が発生した時は、速やかに担当ゾーン・チェアパーソンに連絡する。
2. 慶弔に該当する事項がゾーン内に発生した時は、担当ゾーン・チェアパーソンは、速やかにキャビネット事務局に連絡する。
3. クラブ会員（正会員・支部会員）が死去した時は、弔旗および香料10,000円を贈る。
4. クラブ会員（正会員・支部会員）による献眼・献腎・献体が発生した場合、その行為を称え、花輪又は生花を贈る。

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則

前 文

原則として災害が発生した場合、直ちに地区緊急災害対策本部を設置し、会員安否と被災地の被害状況を速やかに確認し、インターネット等、通信インフラを駆使し、災害対策等の初動体制が速やかに起こせるように体制を設置する。また、必要と認めるときは、地域住民並びに被災地の会員等を支援するための地区緊急災害支援センターを立ち上げ、被災地の各クラブとの連携が図られ適正かつ迅速に支援できる体制を確立したい。

第1章 総則

第1条 (名称)

この規則は、地区緊急災害対策本部（以下「地区対策本部」という）規則と称する。

第2条 (事務所)

この地区対策本部の事務所は、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区（以下「地区」という）キャビネット事務局内に置く。

第3条 (目的)

この規則は、災害発生時、速やかに必要な体制を確立するための基本事項を定め、総合的かつ計画的な体制の策定及びその推進を図ることを目的とする。

第4条 (組織)

- 1項 地区対策本部の本部長は地区ガバナーをもって充てる。
- 2項 地区対策本部の副本部長は、第1副地区ガバナー及び第2副地区ガバナーとし、本部長は被災もしくは正当な事由により職務遂行できない場合はその職務を代行する。
- 3項 地区対策本部の、委員は地区アラート委員長がその任にあたる。
- 4項 本部長は、専門知識を必要とする場合、特別委員を任命することができる。

第5条 (地区対策本部の責務)

地区対策本部は、地区内市町村における災害が発生した場合において、災害管轄のゾーン・チェアパーソンを監督するとともに、災害対策に必要なあらゆる事務及び業務の遂行とその総合調整を行い、万全の措置を講ずる責務を有する。

第6条 (ゾーンの責務)

- 1項 災害管轄のゾーン・チェアパーソンは、当該ゾーン内のクラブとの総合調整を行う責務を有する。
- 2項 災害管轄のゾーン・チェアパーソンは、当該ゾーン内の各クラブと相互協力できるように調整を図るため、当該ゾーン内の緊急災害対策調整会議（以下「調整会議」という）を開き、その結果を地区対策本部に報告を行う。

第7条 (クラブ緊急災害対策本部の責務)

各クラブは、当該市町村における災害が発生した場合において、災害支援を行う必要があると認めるときは、クラブ緊急災害対策本部（以下「クラブ対策本部」という）を設置し、的確かつ迅速に支援活動を行う。

第8条 (緊急援助資金残高)

- 1項 地区緊急援助資金規定により、資金残高は常時1,000万円以上を確保する。
- 2項 災害発生時、被災地へ緊急援助資金として支出し、本条1項残高が確保できない事態になり、キャビネット会議にて提議、承認された場合、緊急災害対策本部長（地区ガバナー）は各クラブ、メンバーに対し、緊急援助資金を規模に応じて調達し、その填補は会員から徴収する。

第2章 地区緊急災害支援センター

第9条 (地区緊急災害支援センター)

- 1項 本部長は、必要と認めるときは地区対策本部に地区緊急災害支援センター（以下「支援センター」という）を設置することができる。
- 2項 支援センターの組織構成は以下の通りとする。
 - ・ 支援センター委員長は、本部長が就任し、地区対策本部長職と兼務する
 - ・ 副委員長に第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー
 - ・ 委員に地区ガバナーが所属するゾーン・チェアパーソン、地区 LCIF、アラート各委員長
 - ・ 事務局長にキャビネット幹事
 - ・ 会計にキャビネット会計
 - ・ 特別委員に前地区ガバナー
- 3項 支援センターは、あらゆる情報を得て、その災害規模に応じて支援を行う。
- 4項 支援センター会議において、支援金（緊急援助資金）の配分を決め支援する。
- 5項 支援センターは、具体的な運用についてはマニュアルを作成し実行規範とし、日頃より準備を行う。

第10条 (資金の調達)

地区緊急援助資金から、災害規模に応じた資金を調達する。またクラブ及び会員並びに地域社会の個人、団体その他の人々からの寄附金、義援金等を受けて調達する。

第11条 (表彰)

資金の調達に功労のあったクラブ、個人、団体等に対し表彰及び感謝の意を表すことができる。

第3章 会計

第12条 (会計処理)

- 1項 地区対策本部が設置されたとき、会計処理を明確にするため特別専用口座を開設する。
- 2項 支援センターの基本財源は、前10条(資金の調達)に基づき地区緊急援助資金からの立替金を充当する。LCIFからの入金や他地区クラブ、個人、団体等からの寄付金、義援金等を財源とし、適正に入出金を管理する。

第13条 (会計年度)

会計年度は、地区対策本部が設置されたときから、年度末の6月30日までとする。

第14条 (収支報告)

年度内の会計収支報告を次年度第2回キャビネット会議までに報告とする。

第4章 解散

第15条 (解散及び引継ぎ)

- 1項 地区緊急災害対策本部の存続期間については、災害時の終息年度末、又は本部長の終息宣言をもって解散する。
- 2項 災害時期や規模に応じて、当該年度をまたぐ場合、第4条に基づき組織を引き継ぐものとする。

3項 附 則

(施行)

この規則は、ライオンズクラブ国際協会 333-E地区 2019-2020年度第1回キャビネット会議決議のあった日に公布され、2019年7月28日から施行される。

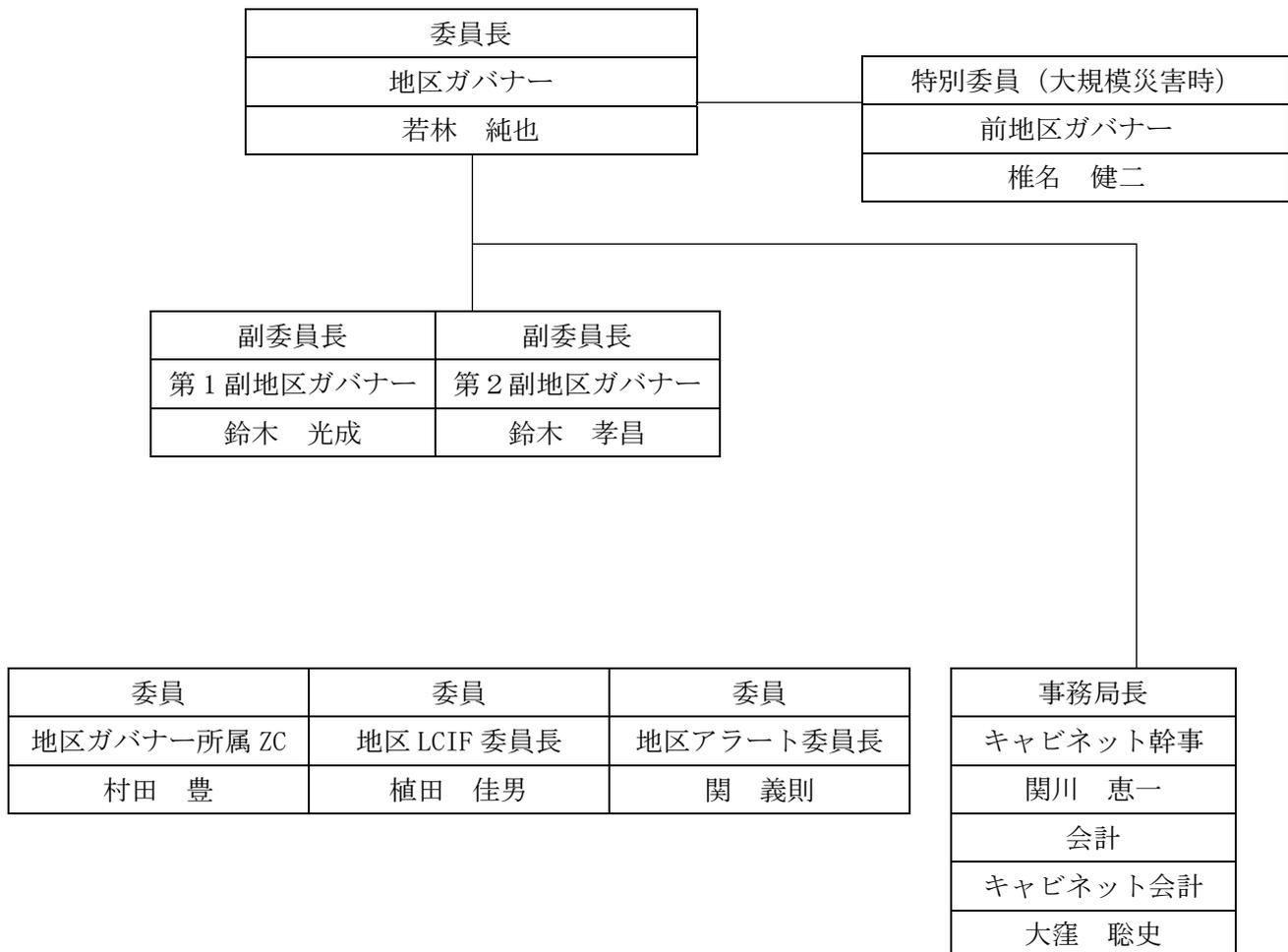
ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

2025-2026 年度 地区緊急災害対策本部 組織図

1. 災害発生時

地区緊急災害対策本部		
本部長	地区ガバナー	若林 純也
副本部長	第1副地区ガバナー	鈴木 光成
副本部長	第2副地区ガバナー	鈴木 孝昌
委員	地区アラート委員長	関 義則

2. 地区緊急災害支援センター【必要に応じて本部長（地区ガバナー）が招集できる】



ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

地区緊急災害対策本部規則

=運用マニュアル=

はじめに

災害発生に対し、地区緊急災害対策本部規則に基づき、地区緊急災害対策本部を設置し、速やかな支援対応に当るものとする。

緊急時の、即応と支援内容を確認するためにも、刻々と変化する情報収集と連絡体制が重要なポイントで有り、キャビネットとクラブ及びメンバーとの日頃のインターネット通信を広めることは必須である。

大規模災害では電話回線が不通となり、情報収集はインターネットが基本となる。災害に備えて、各クラブは行政との連絡がとれる体制を構築していく。

■災害発生・組織の編成

1. 地区緊急災害対策本部 第4条（組織）を設置

地区ガバナーは、下記のメンバーを収集し本部設置を宣言する。

【本部長】地区ガバナー

【副本部長】第1副地区ガバナー

【副本部長】第2副地区ガバナー

【委員】地区アラート委員長

尚、本部長は必要に応じて専門知識や被災地との関わり合いを持つ者を特別委員として組織に加え、速やかに行動できる体制（地区緊急災害支援センター）を造る。

*当該本部の実務的役割として、地区外からの対応や訪問の外交的窓口となる。

*本部設置について、事務局に集まる事が困難な場合は、電話、メール、インターネット等による連絡でお互いに確認しあい、本部長（地区ガバナー）宣言のもと、本部設置を宣言、また終息宣言する。

2. 地区緊急災害支援センター 上記メンバーにより地区緊急災害対策本部第9条を設置

地区緊急災害支援センター（以下「支援センター」という）は、地区ガバナーを委員長とし、支援センターを設ける。

委員長	地区ガバナー
副委員長	第1副地区ガバナー
副委員長	第2副地区ガバナー
委員	地区ガバナーが所属するZC
委員	地区LCIF委員長
委員	地区アラート委員長
事務局長	キャビネット幹事
会計	キャビネット会計
特別委員【大規模災害時】	前地区ガバナー

※大規模災害時、委員長は特別委員として前地区ガバナーを招集する事が出来る。

※収束が年度をまたぐ場合、前年度キャビネット幹事、前年度キャビネット会計は留任する。

※委員長（地区ガバナー）が必要と認めた者を委員に加えることができる。

■ 地区内にて災害発生時

被災した地域のクラブ会長は、地区ガバナー又は、地区アラート委員長に報告する。	行政などと連絡をとり、被害状況や規模などを報告する。
本部長（地区ガバナー）は地区緊急災害対策本部を設置し、支援センターを設ける。	本部長は、地区緊急災害支援センター会議を招集し、支援について協議する。 ※大規模災害時は、上記メンバーに特別委員として前地区ガバナーを招集する事が出来る。
支援センターの役割	① 被災地の要望を収集し、情報を共有化する。 ② 被災したクラブまた会員に対して支援を検討し、実行する。 ③ 被災地域の状況に応じた支援を検討し、実行する。

■ 地区外にて災害発生時

本部長（地区ガバナー）は地区緊急災害対策本部を設置し、支援センターを設ける。	本部長は、地区緊急災害支援センター会議を招集し、支援について協議する。 ※大規模災害時は、上記メンバーに特別委員として前地区ガバナーを招集する事が出来る。
支援センターの役割	① 被災地の要望を収集し、情報を共有化する。 ② 被災した地区に対し支援を検討する。 ③ 被災地域の状況に応じた支援に対して検討する。

※その他の支援については、被災地への支援活動状況に応じて、支援センター会議にて協議する。

【組織の構成別紙 1 参照】

■ 地区緊急災害支援センターの情報提供

支援センターは、支援を受けるクラブと支援するクラブの情報をインターネット（地区ホームページ）やフェイスブック「災害掲示板 333-E 地区」に掲載する。

インターネット情報の共有化により、クラブ・アクティビティとして双方間で責任を持って連絡を取り合い円滑な支援を行う。

1. 支援を受けるクラブ

- ① 災害が起きたら、被災状況を地区ガバナー、または、地区アラート委員長に連絡する
- ② 被害状況や、具体的な支援方法をインターネット、フェイスブック「災害掲示板 333-E 地区」に掲示する

③ 現状報告と支援要請（例）

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| ・〇R〇Z〇〇クラブ | 氏名〇〇 〇〇 |
| ・災害状況や規模の報告 | （例・地震で家が半壊、怪我人、水が出ない、等） |
| ・どんな支援が必要か？ | （例・水、食料、毛布、衣類、薬、ボランティア要請、等） |
| ・地域行政の対応状況？ | （例・行政での対策本部の設置か？ 行政支援状況は？） |

※クラブ発信や支援センターからの情報は、インターネット、フェイスブック「災害掲示板 333-E 地区」に掲載する。刻々と変わりゆく支援情報はリアルタイムな情報のやり取りが必要である。

2. 支援するクラブ

掲載されたインターネット情報、フェイスブック「災害掲示板 333-E 地区」により、迅速なクラブ支援体制を図る。

■支援センター会議での審議

○支援策の審議

- ・被災した地区内クラブまた会員への支援策を検討
- ・他地区の大規模災害支援策を検討
- ・ボランティアや物資支援等の支援の検討

■資金の調達と表彰「地区緊急対策本部規則」を引用

- 地区緊急援助資金から、規模に応じて調達し、その補填は会員から徴収する。
- 各チャリティーや街頭募金などを「支援センターが定めた口座」に資金協力したクラブ・個人には規定により感謝状を贈呈する事が出来る。

【表彰に関する規定 別紙2 参照】

■クラブにおける日頃からの準備と対応

1. クラブにおいて、アラート委員会を設ける。
尚、会員安否など、急務な対応が求められる事から、アラート委員長には会長が兼務することが望ましいが強制はしない。
2. 委員は災害情報を得られる人材である事が望ましく、インターネット情報により即行動に移せる環境を整えて置く。
3. 災害支援情報をキャッチし、遅くとも一週間以内には支援手配が完了する迅速なる行動体制が望ましい。

【クラブ内規の見本 別紙3 参照】

■被災クラブの対応

- 奉仕活動が迅速に受けられるように、奉仕実行班（グループ）を形成する。

1. 【連絡班】 行政機関及び地区緊急支援対策本部、NPO等の連絡
2. 【作業班】 支援物資運搬・保管・仕分作業
3. 【誘導班】 復興ボランティアの誘導

■ゾーン緊急災害対策調整会議開催と報告

1. 大規模災害時には、被災管轄ゾーン・チェアパーソンが被災ゾーン内の各クラブ会長または代理を収集し、ゾーン緊急災害対策調整会議を開催する。
2. 被災地クラブでは、クラブ対応（奉仕実行班）が出来ない事を考慮し、ゾーン内で相互応援し合いチームワークがとれるように被災管轄ゾーン・チェアパーソンが調整会議でまとめる。
3. ゾーン・チェアパーソンは、その報告を地区緊急災害対策本部長（地区ガバナー）に報告する。

別紙 1

組織の構成（対策本部） 2025-2026 年度		
本部長	地区ガバナー	若林 純也
副本部長	第1副地区ガバナー 第2副地区ガバナー	鈴木 光成 鈴木 孝昌
委員	地区アラート委員長	関 義則

※本部長は、必要に応じて専門知識や被災地との関わり合いを持つ者を特別委員として組織に加え、即戦力として機動力を発揮できる体制を作る。

組織の構成（支援センター） 2025-2026 年度		
特別委員（大規模災害時）	前地区ガバナー	椎名 健二
委員長	地区ガバナー	若林 純也
副委員長	第1副地区ガバナー	鈴木 光成
	第2副地区ガバナー	鈴木 孝昌
委員	地区ガバナーが所属する ZC	村田 豊
	地区 LCIF 委員長	植田 佳男
	地区アラート委員長	関 義則
事務局長	地区キャビネット幹事	関川 恵一
会計	地区キャビネット会計	大窪 聡史

※収束が年度をまたぐ場合、前年度キャビネット幹部、前年度キャビネット会計は留任する。

※委員長（地区ガバナー）が必要と認めた者を委員に加えることができる。

※年度毎に担当する役員氏名が入れ替わる。

別紙 2

■表彰に関する規定

地区緊急災害支援センター第10条(資金の調達)の目的に賛同し、支援センターを経由して資金協力したクラブもしくは個人に対し、資金協力額に応じて感謝状等を贈呈する。

表彰内容：30万円以上資金協力したクラブもしくは個人

別紙3

■クラブ会則(内規)の見本
(記載例)

第〇〇条アラート委員会と委員の権限

当クラブは、災害支援を行う場合、迅速な対応を行えるようアラート委員会を設け、日頃より情報の収集に気配りを行い、いざ災害への要求が求められた場合、理事会を通さず会長承認の下、アラート委員の権限の範囲内で支援できるものとする。

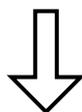
権限の範囲内とはクラブ年度予算計上の範囲内とする。それ以外は理事会で議決され、例会の承認を得るものとする。

別紙4

地区緊急災害対策本部設置役割イメージ

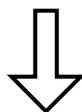
地区緊急災害対策本部・地区緊急災害支援センターの設置

- ・本部は、地区内の状況を掌握し、地区内外との総合的な窓口となる。
- ・本部は、支援センターを設置し支援体制を確立し、状況に合わせて迅速なる行動判断を下す。



被災ゾーン緊急災害対策調整会議の役割

ゾーン内のクラブ間において円滑に支援活動ができるように調整を図る。クラブ会長及び各クラブアラート委員長との調整会議を開き、円滑な支援協力を得る。



被災クラブの役割

被災状況など情報発信を行う。

被災クラブは実働部隊として行動するので、迅速に支援が受けられるように、班体制を作る。

【連絡班】本部、ゾーン、行政及びNPO等の連絡

【作業班】支援物資運搬・保管・仕分作業

【誘導班】復興ボランティアの誘導

それぞれ役割をもって行う必要がある。

※様々な状況を踏まえ、スムーズな行動を開始するため、事前にシミュレーションをしておく

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区内規 緊急援助資金規程

1. 目 的

緊急災害その他これに類する事項の応急的援助のため、1991年7月1日現在50万円をもって、『緊急援助資金』（以下、「資金」という）を設ける。

2. 資金の調達

- ① 積立金を充当し、資金から生ずる利息は資金に繰り入れる。
- ② その他の収入

3. 資金の残高

資金の残高は、常時1,000万円以上を確保する。

4. 援助の対象

援助の対象は、災害救助法を適用された333-E地区内の災害及びこれに準ずる国内、海外の災害並びに緊急に資金を要する事態のうちから、緊急援助資金委員会（以下、「委員会」という）の決議に採択する。

5. 委員会の構成

委員会は地区ガバナー、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計及びキャビネット所在地ゾーン・チェアパーソンをもって構成する。

6. 運 用

- ① 援助の発案は、地区ガバナーが行う。
- ② 援助にあたっては、全委員の3分の2以上の賛成を要する。但し、必要に応じて電話、FAX、Eメールによって決定し、事後、文書でそれを確認することが出来る。
- ③ 援助の額及び援助の方法は、その都度決定する。
- ④ 援助を受けた地区のゾーン・チェアパーソンは、速やかにその用途を報告する。

7. 監 査

委員会は、複合地区会則24条第4項に準じて、この資金の監査を受け、期末における残高は、次期委員会に速やかに引き継ぐものとする。

8. 施行及び改廃

この規定は、1991年7月1日から施行し、以降、333-E地区年次大会に出席し、投票した代議員の3分の2以上の賛成投票によって改廃することができる。

2001年4月28日 第47回333-B地区年次大会において一部改正

2002年5月11日 第48回333-B地区年次大会において一部改正

2008年4月27日 第54回333-E地区年次大会において一部改正

2011年5月7日 第57回333-E地区年次大会において一部改正

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

災害対応マニュアル

はじめに

この災害対応マニュアルは、集中豪雨による土砂災害・浸水被害、そして地震等による災害を想定して作成しました。これまで長年に渡り大災害といわれるものは 100 年に 1 度といわれておりましたが、近年は東日本大震災をはじめとした大地震による災害や地球温暖化の影響とみられる豪雨災害が毎年のように各地で発生しております。

災害は忘れた頃にやってくるのではなく、自分の暮らす地域でも必ず発生するとの意識をもち、災害に対して常に備える必要があると考えます。

333-E 地区でも「地区緊急災害対策本部規則」並びに「運用マニュアル」により、災害発生時の行動規範が示されておりますが、より迅速に対応するためにこの「災害対応マニュアル」を作成しました。

このマニュアルが絵に描いた餅にさせないため、災害発生時に迅速に実践に移せるよう高い意識を持ち、定期的にシミュレーションしていくことが大切です。

また災害対応のあり方は、社会の状況や時代とともに変わってゆくことですので、このマニュアルも随時見直しを重ねることで、より充実したものへと進化させてゆきましょう。

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

2024-2025 年度 環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員会

災害発生時の対応

災害発生時には次の内容を検討する必要があります。

1. 情報収集（災害場所の特定と状況の把握）
2. 連絡方法の確立
3. 支援の種類、方法の検討
4. 実際の支援
 - ・ 支援物品集積・配送・提供
 - ・ 人的支援
 - ・ 金銭的支援

1.情報収集

1-1 【被災クラブ】

- ① クラブ内の被害状況調査
 - ◆クラブ会員及び家族の安否 → キャビネット事務局へ報告
 - ◆クラブ会員の企業の被災状況の確認

- ② クラブ活動地域の被災状況調査
 - ◆地元自治体の災害担当部署および電話番号・担当者等の把握
(例)総務課等・社会福祉協議会、自治会 など
 - ◆避難所開設のある場合
 - 避難所の名称・住所・連絡先・担当者等の把握
 - 支援物品の調査・リスト作成、ゾーン・チェアパーソンへ報告
ゾーン・チェアパーソンはキャビネット事務局へ報告

1-2 【地区キャビネット】

災害規模把握と支援体制作り

地区ガバナーは直ちに地区緊急対策本部（以下、対策本部）を招集、情報の収集を行い、災害規模を次のレベル1・2・3に判別する。必要に応じて地区緊急災害支援センター（以下、支援センター）を設置する。

レベル 1 = 災害発生地域が概ね一市町村内での災害

レベル 2 = 災害発生地域が概ね数市町村にまたがるとなる災害

レベル 3 = 災害発生地域がレベル 2 を超える広域に及ぶ災害

※但し、災害の範囲に加え被害の状況により災害レベルを最終的に決定する

災害レベル 1 の場合

- ① 被災者支援窓口は原則として、被災地域のライオンズクラブ内に設置する。クラブ事務局が被災した場合には、ゾーン・チェアパーソンの判断により代替となる被災者支援窓口を設置する。
- ② 責任者は、被災者支援窓口を設置したクラブの会長もしくはクラブが定めた担当者とする。
- ③ 所属リジョンのアラート委員は上記責任者、ゾーン・チェアパーソンと連絡を密にし、支援行動をとる。(対策本部への報告を含む)
- ④ 責任者は支援物品受け入れ場所(集積場所)の確保と必要な物品の情報発信を行う。
- ⑤ 被災者支援窓口を設置したクラブ又は責任者名義の支援金受入口座を開設し、迅速な告知を行う。(年度毎にキャビネット事務局へ収支報告を行う)
※原則としてキャビネット事務局では口座を開設しない。

災害レベル 2 の場合

- ① 被災者支援窓口は対策本部(支援センターが設置された場合は支援センター)とする。
- ② 被災地域のゾーン・チェアパーソンはゾーン内の被災状況を地元クラブから聞き取り調査し、キャビネット幹事に報告する。
- ③ 被災地域のゾーン・チェアパーソンが被災し、統括が困難な場合は近隣のゾーン・チェアパーソンが代理を務める。(対策本部が依頼)
- ④ 社会福祉協議会との連携により、被災状況やボランティアセンター開設情報を収集する。
- ⑤ 対策本部(または支援センター)は、LCIF 緊急援助交付金申請の有無を早急に判断し、必要と判断した時は直ちに申請を行う。(災害発生から 30 日以内)
- ⑥ キャビネット会計はキャビネット事務局名義の支援金口座を開設し、義援金の募集の迅速な告知を行う。
- ⑦ 支援金の支出は、対策本部(または支援センター)の承認を得なければならない。
- ⑧ 対策本部(または支援センター)の指示により地区アラート委員会は支援の役割を担う。

災害レベル3の場合

- ① 支援体制はレベル2以上と判断した場合を踏襲する。
- ② 対策本部（または支援センター）は333複合地区、（一社）日本ライオンズと調整を行い地区に反映する。

2. 連絡方法の確立

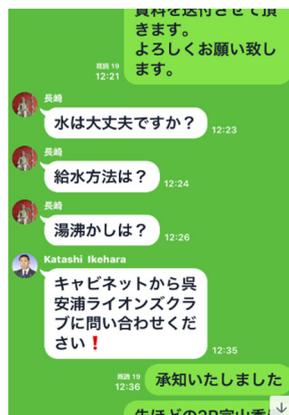
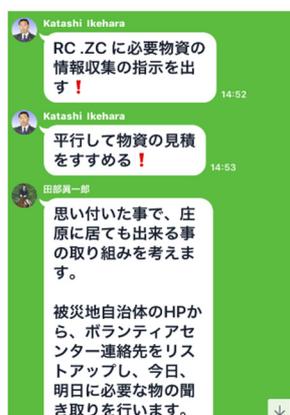
2-1 【情報伝達手順】

1. 活動地域において災害が発生したクラブはクラブ会長または幹事名にてゾーン・チェアパーソン → キャビネット幹事 → 地区ガバナーに状況報告ならびに連絡担当者等を伝達し必要な物品、応援等があればあわせて要請する。

※報告者本人が被災し連絡が困難な場合は、その方を割愛して次順位へ報告する。

- 災害発生時を想定し、年度当初に連絡網を構築しておく。
- ゾーン・チェアパーソンは所属リジョンのアラート委員、キャビネット副幹事、クラブ役員から構成する災害連絡体制を確立する。
- 地区キャビネット、ゾーン・チェアパーソン、地区アラート委員間で定期的なシミュレーション（訓練）が必要。
- 情報共有、一元化を図るために、LINE等の利用を検討する。

2-2 【LINEグループによる情報共有】



3. 支援・受援の種類・方法の検討

被災地の状況に応じた支援・受援の種類や方法の検討を行う。

3-1 支援物品の提供、受入

- ・被災地のニーズに対応した物品を提供
- ・会員企業の倉庫等を物品の保管庫として使用
- ・状況にあわせた受援物資の管理および精査

など

3-2 人的支援

- ・ボランティアの派遣（炊き出し、清掃片付け作業等）
- ・状況にあわせたボランティア受入体制の精査

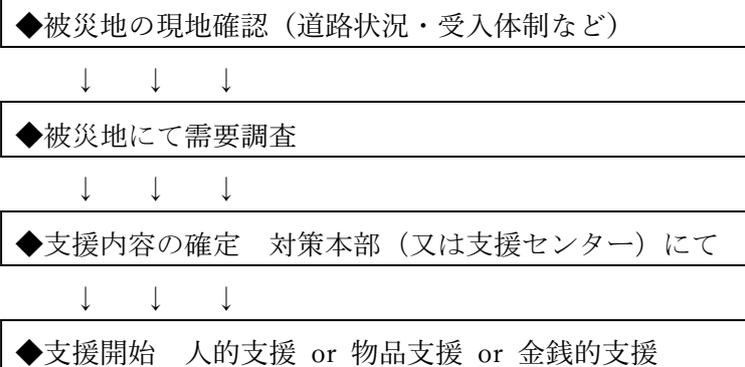
など

3-3 金銭的支援

- ・333-E 地区内クラブより会員数に応じた支援金の集金（地区キャビネット）
- ・地区内・地区外の個人・法人・ライオンズクラブから支援金受付
- ・ホームページやSNSを活用し、開設した支援金受付口座の迅速な周知。
- ・LCIF 交付金申請の検討

など

3-4 被災地支援のフローチャート



※現地に行く際の注意点・・・必ず「自己完結」の体制を整えること
（食事・宿泊・トイレを含め全ての事を準備）

4. 実際の支援・受援

4-1 支援物品提供

災害発生時、被災地で必要とされる支援物品は日々変化していくため、適切・迅速に支援を行うためには、最新情報を入手し、情報の共有を行う。

4-1-1 支援物品ニーズの把握（社会福祉協議会と連絡を密にして行う）

- ① 333-E 地区ホームページに災害対応ページを追加
- ② 必要物品名の把握（被災者支援窓口より報告）
 - ・必要物品名と数量をホームページに掲載（情報はできるだけ頻繁に更新）
 - ・数量が十分に確保されている物品提供は断る決断も必要
- ③ ライオンズクラブのネットワーク活用
 - ・地区内、地区外のクラブに対策本部を通して、支援の要請を行う

4-1-2 支援物品集積場所の確保

- ① 支援物品集積場所の設置（クラブ会員企業の倉庫が望ましい）

4-1-3 支援物品の調達・運搬・搬送

- ① 支援物品は支援物品集積場所で引き渡しが原則
- ② 輸送手段が無い場合は宅配業者の使用も検討

4-1-4 地区外からの支援物品受け入れ

- ① 原則として被災者支援窓口が連絡・受入を担当する
- ② 物資搬送車両が通過する道路事情の把握および現地案内

4-2 人的支援のあり方

4-2-1 被災地域のクラブが破滅状態の際

- ① 被災を免れた近隣クラブやゾーン(リジョン)で災害支援窓口を担う。
- ② 被災したクラブやメンバーに対する援助を実施し、少しでも早くそのクラブが地元での支援活動を再開できるようにする。（復興速度を速めるため）

4-2-2 被災地に対する支援例

- ① 食料・物資調達 (水・食品・衣服・日用品等の調達と配送等)
- ② 資機材調達 (ブルーシート・軍手・スコップ・土嚢・熊手・発電機等)
- ③ 運送・運搬 (軽自動車・トラック・小型バス等の運搬等)
- ④ ボランティア (ボランティアの配置・被災地での実働部隊)
- ⑤ 炊き出し (被災者・ボランティアへ現地での食事の手配等)
- ⑥ 被災地ケア (心と体のケア・・・癒しのマッサージ等)
- ⑦ 通 訳 (日本語がわからない外国人への対応等)
- ⑧ ペット救助 (被災地に放置されたペットの保護等)

4-3 金銭的支援

4-3-1 支援金の募集と口座開設

- ① 災害レベルがレベル1の場合は、被災者支援窓口となったクラブが支援金口座を開設し、キャビネット事務局へ通知する。また、年度毎にキャビネット事務局へ収支報告を行う。
- ② 災害レベルが2及び3の場合は、キャビネット会計が支援金口座を開設、口座の情報をホームページに掲載し、半期毎に会計監査を受ける。
- ③ 支援金を支出する際には、被災者支援窓口の責任者の了解を得ること。

4-3-2 地区緊急援助資金

- ・333-E 地区では、1,000万円超の地区緊急援助資金を保有している。
- ・地区緊急援助資金の支出は地区緊急援助資金規則によって決定される。

4-3-3 LCIF災害援助交付金プログラムの活用

ライオンズクラブ国際財団では、災害援助交付金プログラムあり、2025年1月の時点では、①防災準備交付金、②緊急援助交付金、③大災害援助交付金の3種類の交付金が用意されている。

交付金には、申請時期・金額・用途などに決まりがあり申請手続きもやや煩雑なうえ、内容の見直しが行われる。

対策本部（または支援センター）は被害の状況を迅速に把握し、交付金申請の有無を判断しなければならない。

(配布)

本マニュアルを配布する際には必ず、次の1～3を同梱することとする

1. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則
2. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急災害対策本部規則 =運用マニュアル=
3. ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 地区緊急援助資金規則

(運用)

このマニュアルは、ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 2024-2025 年度 第3回キャビネット会議で決議され、333-E 地区内クラブ事務局へ配信を完了した時より運用を開始する。



地区ガバナーエレクト紹介

氏名	L 若林 純也 (わかばやし じゅんや)
所属	333-E地区 2R1Z 水戸葵ライオンズクラブ
生年月日	1968年10月4日
現住所	〒311-1232 茨城県ひたちなか市柳が丘33-3

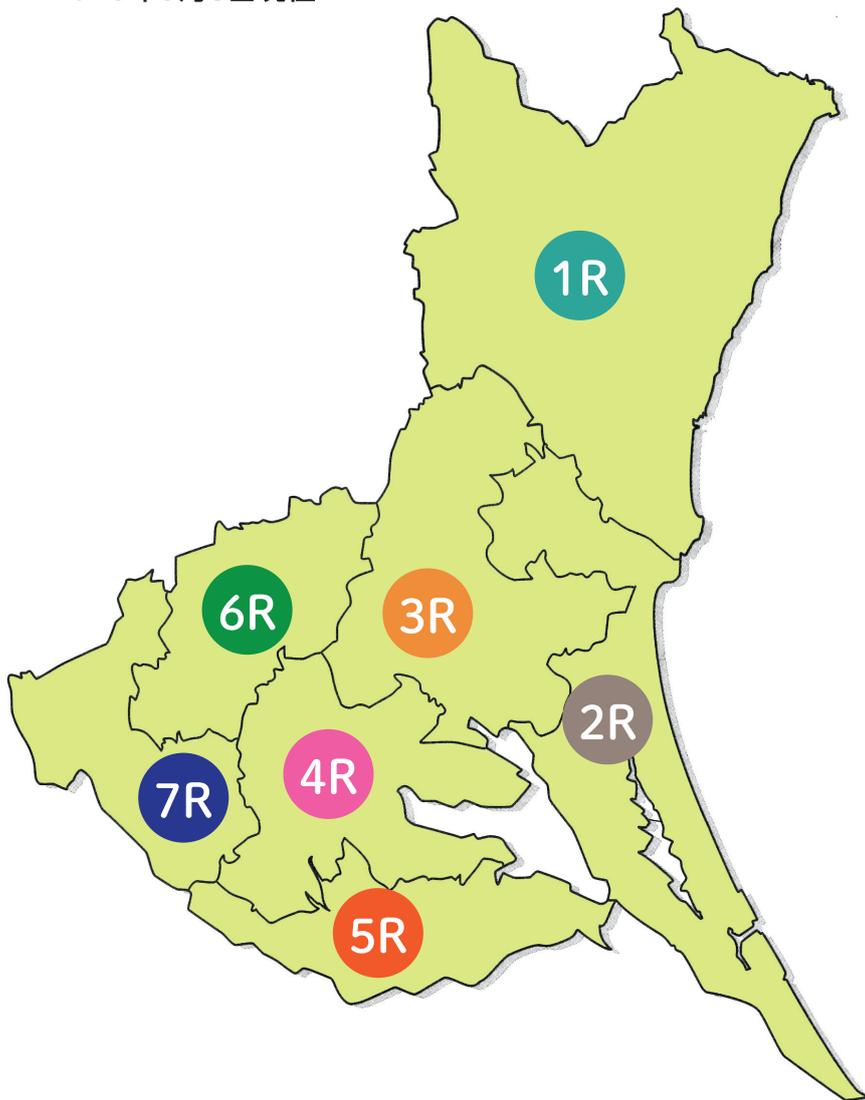
職業・役職	ミナト防災通信工業株式会社 代表取締役会長 未来ビルテック株式会社 代表取締役 ミナトテック株式会社 取締役会長 シーライズホールディングス株式会社 代表取締役
家族構成	妻・長女・長男・次女
趣味	釣り・BBQ・オートバイ
最終学歴	茨城県立大洗高校
職歴	1989年 ミナト防災通信工業株式会社 入社
ライオン歴	2009年 水戸葵ライオンズクラブ入会 2010年～2011年 クラブ理事 2011年～2012年 クラブ理事 2012年～2013年 クラブ幹事 2012年～2015年 地区青年アカデミー委員会 委員長 2015年～2016年 地区GLT委員会 委員長 2016年～2017年 クラブ会長 (第52代) 2021年～2024年 日本ライオンズ・複合アラート委員会 班長 2022年～2023年 2R1Zゾーン・チェアパーソン 2023年～2024年 第2副地区ガバナー 兼 GETコーディネーター 2024年7月～ 日本ライオンズ・複合アラート委員会 班長 2024年7月～ 第1副地区ガバナー
ライオンズ関連受賞歴	国際会長アワード 1回 LCIF理事長感謝状 1回 メルビンジョーンズフェロー賞 12回
国際大会参加歴	釜山・ハンブルク・ハワイ・福岡・シカゴ・モンリオール (パ・チャル) モンリオール・ボストン・メルボルン
OSEALフォーラム参加歴	高雄・マニラ・福岡・シンガポール・仁川・香港・台南・マニラ パタヤ

2025-2026 年度 キャビネット幹事・会計予定者経歴書

	幹 事	会 計
氏名	 <small>せきかわ けいいち</small> 関川 恵一	 <small>おおくぼ まとし</small> 大窪 聡史
生年月日 (西暦)	1970 年 12 月 20 日	1977 年 3 月 16 日
所属クラブ	水戸葵ライオンズクラブ	水戸葵ライオンズクラブ
電話	029-212-5820	0294-27-8808
FAX	029-212-5821	0294-27-8807
携帯電話	080-3244-5167	090-4963-6914
職業業種	建設業	卸売業
勤務先名	(株)関川豊商店 代表取締役	(株)大窪炉材 代表取締役社長
ライオン歴	2015 年 クラブ入会 2017-2018 CAB 副幹事 2019-2020 クラブ幹事 2020-2021 CAB 副委員長 2022-2023 クラブ会長 2023-2024 CAB 地区委員長 2024-2025 CAB 副幹事	2019 年 クラブ入会 2022-2023 クラブ幹事 2024-2025 CAB 副幹事

ライオンズクラブ333- E 地区分布図

2025年5月8日現在



3R

- 1Z
石岡 LC
八郷 LC
美野里 LC
常陸小川 LC
茨城ひぬま LC
岩間 LC
笠間 LC
内原 LC

1R

- 1Z
日立 LC
高萩 LC
日立中央 LC
日立桜 LC
・多賀桜支部
日立きらら LC
北茨城桜 LC
- 2Z
勝田 LC
那珂湊 LC
東海 LC
勝田グリーン LC
ひたちなかベスト LC
- 3Z
常陸太田 LC
常陸大宮 LC
那珂 LC
常陸太子 LC

2R

- | | |
|---|--|
| 1Z
水戸 LC
水戸葵 LC
・アラート支部
水戸西 LC
水戸東 LC
水戸南 LC
水戸北 LC
水戸チアフル LC | 2Z
大洗 LC
鹿島 LC
鉾田 LC
潮来 LC
神栖 LC
行方 LC |
|---|--|

4R

- | | |
|--|---|
| 1Z
土浦 LC
土浦亀城 LC
阿見 LC
土浦環 LC
土浦北 LC
・ロータス支部
美浦 LC
霞ヶ浦 LC
・わかさぎ支部
土浦 SORA LC
・土浦 SWEET 支部 | 2Z
筑波 LC
・ヘレンケラー支部
・さくら Project 支部
・オールフレンド支部
つくば中央 LC
・むすび支部
・バックキャスティング支部
つくば西 LC
・ラブアース支部
・IT Promotion 支部
つくば OAK LC
・クララ支部
・Art 支部
・つくば大人の憩い場支部
つくばアウル LC
つくば紫峰 LC
つくば HOPE LC
筑波ヤング LC
・ネクストステップ支部 |
|--|---|

7R

- 1Z
古河 LC
・UFK 支部
総和 LC
茨城三和 LC
- 2Z
岩井 LC
石下 LC
水海道 LC
茨城境 LC
・West Future 支部
つくばみらい LC
ごか LC

5R

- | | |
|--|--|
| 1Z
龍ヶ崎 LC
江戸崎 LC
牛久茎崎 LC
・まんぷく支部
竜ヶ崎ききょう LC | 2Z
取手 LC
守谷 LC
取手大利根 LC
利根 LC
取手中央 LC |
|--|--|

6R

- | | |
|--|--|
| 1Z
岩瀬 LC
真壁 LC
協和 LC
常陸大和 LC | 2Z
茨城八千代 LC
下館巴 LC
しもつま LC
下館シニア LC
筑西 LC |
|--|--|

333-E地区 ライオンズクラブの現況

1. 世界のライオンズ (2025年3月31日現在)

国または領域	クラブ数	会員数
200以上	49,206	1,368,371

2. 日本のライオンズ (2025年3月31日現在)

クラブ数	会員数
2,700	93,557

3. 333複合地区 (2025年3月31日現在)

	クラブ数	会員数
333-A (新潟)	68	2,738
333-B (栃木)	46	1,235
333-C (千葉)	100	2,641
333-D (群馬)	45	1,670
333-E (茨城)	79	3,649
合計	338	11,933

4. 333-E地区 (2025年3月31日現在)

リジョン	ゾーン	クラブ数	3月末	クラブ名
1	1	6	177	日立・高萩・日立中央・日立桜(○)・日立きらら・北茨城桜
	2	5	192	勝田・那珂湊・東海・勝田グリーン・ひたちなかベスト
	3	4	136	常陸太田・常陸大宮・那珂・常陸大子
2	1	7	312	水戸・水戸葵(○)・水戸西・水戸東・水戸南・水戸北・水戸チアフル
	2	6	483	大洗・鹿島・鉾田・潮来・神栖・行方
3	1	8	196	石岡・八郷・美野里・常陸小川・茨城ひぬま・岩間・笠間・内原
4	1	8	481	土浦(○)・土浦亀城・阿見・土浦環・土浦北(○)・美浦・霞ヶ浦(○)・土浦SORA(○)
	2	8	510	筑波(○)・つくば中央(○)・つくば西(○)・つくばOAK(○)・つくばアウル・つくば紫峰・つくばHOPE・筑波ヤング(○)
5	1	4	220	龍ヶ崎・江戸崎・牛久茎崎(○)・竜ヶ崎ききょう
	2	5	261	取手・守谷・取手大利根・利根・取手中央
6	1	4	124	岩瀬・真壁・協和(○・△)・常陸大和
	2	5	216	茨城八千代・下館巴(○)・しもつま・下館シニア・筑西
7	1	3	103	古河(○)・総和・茨城三和
	2	6	238	岩井(○)・石下・水海道・茨城境(○)・つくばみらい・ごか
計	14	79	3,649	24クラブ支部を含む人数

※ () カッコ内、○…クラブ支部あり、△…レオクラブあり。

※レオクラブの人数は上記会員数に含まれない。

ライオンズクラブで使用している略語

略語	スペル	訳	備考
CAB	Cabinet	キャビネット	
CC	Council Chairperson	協議会議長	
CQI	Club Quality Initiative	クラブ活性化計画	
CM	Charter Member	チャーター・メンバー	クラブ結成時メンバー
CN	Charter Night	チャーターナイト	認証状伝達式
DC	District Chairperson	地区委員長	
DG	District Governor	地区ガバナー	
DGE	District Governor-Elect	地区ガバナーエレクト	
DIST	District	地区	
EXT	Extension	拡張・拡大	新クラブ結成
FVDG	First Vice District Governor	第1副地区ガバナー	
GAT	Global Action Team	グローバル・アクション・チーム	
GET	Global Extension Team	グローバル・エクステンション・チーム	
GLT	Grobal Leadership Team	グローバル指導力育成チーム	
GMA	Global Membership Approach	グローバル・メンバーシップ・アプローチ	
GMT	Grobal Membership Team	グローバル会員増強チーム	
GST	Grobal Service Team	グローバル奉仕チーム	
ID	International Director	国際理事	
IP	International President	国際会長	
IT	Information Technology	情報技術	
LC	Lions Club	ライオンズクラブ	
LCI	Lions Clubs International	ライオンズクラブ国際協会	
LCIF	Lions Clubs International Foundation	ライオンズクラブ国際財団	
LEO	Leadership Experience Opportunity	指導力 経験 機会	
LQ	Lions Quest	ライオンズクエスト	
MD	Multiple District	複合地区	
MJF	Melvin Jones Fellow	メルビン ジョーンズ フェロー	
OSEAL Forum	Orient and Southeast Asian Lions Forum	東洋東南アジア・フォーラム	
PCC	Past Council Chairperson	元協議会議長	
PDG	Past District Governor	元地区ガバナー	
PID	Past International Director	元国際理事	
PIP	Past International President	元国際会長	
PR	Public Relation	広報	
R	Region	リジョン	
SD	Sub-District	準地区（地区）	
SVDG	Second Vice District Governor	第2副地区ガバナー	
TT	Tail Twister	テール・ツイスター	
WYPT	Women&Young People Team	女性及び若手会員チーム	
YCE	Youth Camps and Exchange	ユースキャンプ及び交換留学	
Z	Zone	ゾーン	
ZC	Zone Chairperson	ゾーン・チェアパーソン	

ヘボン式ローマ字綴方表

ア	A	イ	I	ウ	U	エ	E	オ	O
カ	KA	キ	KI	ク	KU	ケ	KE	コ	KO
サ	SA	シ	SHI	ス	SU	セ	SE	ソ	SO
タ	TA	チ	CHI	ツ	TSU	テ	TE	ト	TO
ナ	NA	ニ	NI	ヌ	NU	ネ	NE	ノ	NO
ハ	HA	ヒ	HI	フ	FU	ヘ	HE	ホ	HO
マ	MA	ミ	MI	ム	MU	メ	ME	モ	MO
ヤ	YA			ユ	YU			ヨ	YO
ラ	RA	リ	RI	ル	RU	レ	RE	ロ	RO
ワ	WA	ヰ	I			ヱ	E	ヲ	O
ン	N(M)								
ガ	GA	ギ	GI	グ	GU	ゲ	GE	ゴ	GO
ザ	ZA	ジ	JI	ズ	ZU	ゼ	ZE	ゾ	ZO
ダ	DA	ヂ	JI	ヅ	ZU	デ	DE	ド	DO
バ	BA	ビ	BI	ブ	BU	ベ	BE	ボ	BO
パ	PA	ピ	PI	プ	PU	ペ	PE	ポ	PO
キャ	KYA			キュ	KYU			キョ	KYO
シャ	SHA			シュ	SHU			ショ	SHO
チャ	CHA			チュ	CHU			チョ	CHO
ニャ	NYA			ニユ	NYU			ニョ	NYO
ヒャ	HYA			ヒユ	HYU			ヒョ	HYO
ミャ	MYA			ミュ	MYU			ミョ	MYO
リャ	RYA			リュ	RYU			リョ	RYO
ギャ	GYA			ギユ	GYU			ギョ	GYO
ジャ	JA			ジュ	JU			ジョ	JO
ビャ	BYA			ビユ	BYU			ビョ	BYO
ピャ	PYA			ピユ	PYU			ピョ	PYO

※参考

シェ	SHIE	チェ	CHIE	テイ	TEI	ニイ	NII	ニエ	NIE
ファ	FUA	フィ	FUI	フェ	FUE	フォ	FUO	ジェ	JIE
デイ	DEI	デュ	DEYU	ウィ	UI	ウエ	UE	ウオ	UO
ヴァ	BA	ヴィ	BI	ヴ	BU	ヴェ	BE	ヴォ	BO
ヴァ	BUA	ヴィ	BUI			ヴェ	BUE	ヴォ	BUO

※注意 「ヴァ:VA」「ヴィ:VI」「ヴ:VU」「ヴェ:VE」「ヴォ:VO」は使用不可

【ヘボン式ローマ字表記へ変換する際の注意事項】

1. 撥音：B、M、Pの前の「ん」は、NではなくMで表記します。
例：難波（ナンバ）NAMBA、本間（ホンマ）HOMMA、三瓶（サンペイ）SAMPEI
2. 促音：子音を重ねて表記します。
例：服部（ハットリ）HATTORI、吉川（キッカワ）KIKKAWA
ただし、チ（CHI）、チャ（CHA）、チュ（CHU）、チョ（CHO）音の前には「T」を表記します。
例：発地（ホッチ）HOTCHI、八丁（ハッチョウ）HATCHO
3. 長音：OやUは記入しません。
※長音表記を希望する場合には、下記【ヘボン式によらないローマ字氏名表記】を参照してください。
「ー」を省略する場合

例：ニーナ（ニーナ）NINA、シーナ（シーナ）SHINA、サリー（サリー）SARI
「イ」を省略しない場合

例：新菜（ニイナ）NIINA、しいな（シイナ）SHIINA、さりい（サリイ）SARII
「ウ」を含む長音「ウウ」の場合（「UU」は表記しません。）

例：日向（ヒュウガ）HYUGA、裕貴（ユウキ）YUKI、優子（ユウコ）YUKO
「オ」を含む長音「オウ」の場合（「OU」は表記しません。）

例：幸太（コウタ）KOTA、洋子（ヨウコ）YOKO、亮子（リョウコ）RYOKO
「オ」を含む長音「オオ」の場合（「OO」は表記しません。）

例：大野（オオノ）ONO、大河内（オオコウチ）OKOCHI、大西（オオニシ）ONISHI
末尾が「オオ」音で、ヨミカタが「オ」の場合（「OO」と表記します。）

例：妹尾（セノオ）SENOO、高藤（タカトオ）TAKATOO、横尾（ヨコオ）YOKOO
末尾が「オウ」音で、ヨミカタが「ウ」の場合（「OU」とは表記しません。）

例：伊藤（イトウ）ITO、高藤（タカトウ）TAKATO、御園生（ミソノウ）MISONO

キャビネット事務局の運営

333複合地の歴史を紐解くと2005年にA地区の新潟県と群馬県が単県独立し、新潟県が333-A、群馬県が333-Dになりました。さらに2007年の国際大会の閉会時をもちまして栃木県が333-B、我が茨城県が新たに333-E地区として誕生になりました。

キャビネット事務局としては、準地区のB地区(栃木県、茨城県)の頃、地区ガバナーが交代するたびに事務局が移動し、開・閉局に伴うオーバーラップの期間が必要となり、事務員もその都度採用となるため、事務能力の低下等が指摘されました。その後、茨城県が333-E地区になった2007年からは地区ガバナー所在する地域に「移動キャビネット事務局」として運営されておりましたが、2014年7月に水戸市に事務局が固定化されました。

2020年度「キャビネット事務局検討委員会」が組織され検討した結果、2021年度より5年間は現在の場所で固定事務局とする結論にいたりました。

ライオンズクラブ国際協会333-E地区キャビネット事務局

〒310-0803 水戸市城南3-4-25

TEL 029-306-7750 FAX 029-306-7751

ホームページアドレス <https://lc333-e.com>

メールアドレス info@lc333-e.com

事務局職員の担当業務は、「キャビネットに関する事務的作業」のみです。
地区委員会・地区委員からの依頼業務はキャビネット幹事の許可が必要です。
また、クラブメンバーからの業務依頼は固くお断りします。

問い合わせ：月曜日～金曜日 9：00～17：00

休 日：土・日曜・祝日

キャビネットから発信されるメール文書や電話・FAX等による依頼については期日までに必ずご回答くださるよう、ご協力をお願いいたします。



ライオンズクラブ国際協会
333-E 地区キャビネット事務局

〒310-0803 茨城県水戸市城南 3-4-25

TEL (029) 306-7750

FAX (029) 306-7751

info@lc333-e.com

<https://lc333-e.com>